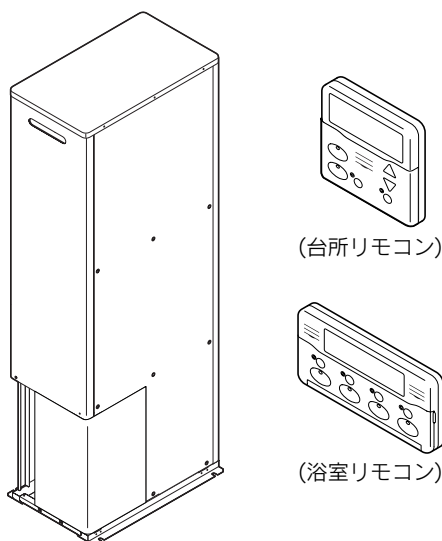


エコウィル
ECOWILL



品名コード **GCT-C03ARS-AWQ**

型式名 **ECG-151**

このたびは排熱利用給湯暖房ユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書を販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

も く じ

ページ

ご使用の前に	安全に正しく使用していただくために…	1
	特長…	9
	各部のなまえとはたらき	
	分電盤・専用ブレーカー…	10
	本体…	10
	台所リモコン…	11
	浴室リモコン…	15
使用方法	設置状態の確認…	19
	ご使用前の準備と確認…	19
	現在時刻の設定…	20
	給湯…	21
	ふろ自動運転…	23
	水位の設定…	25
	ふろ温度の設定…	25
	ふろ自動運転の予約時刻の設定…	26
	ふろ自動運転の予約…	27
	保温時間の設定…	28
	追いだき運転…	29
	たし湯運転…	30
	たし水運転…	31
	呼び出し…	31
	音声ガイドの音量設定…	32
	インターホンの使いかた…	33
	インターホンの音量設定…	34
	自動発電運転…	35
	手動発電運転…	36
	深夜停止時間帯の設定…	37
	ガス発電・給湯暖房機の全停止 (不在停止)…	39
	ナビ表示について	
	単価の設定…	40
	ナビ表示…	41
	積算量のリセット方法…	46
	音声ガイド一覧…	46
	冬期の凍結による破損防止について…	50
	災害時などにお湯を取り出す方法…	54
故障かな？	故障・異常の見分けかたと処置方法	
	故障表示一覧表…	55
	運転動作モード一覧表…	57
	サービスを依頼される前に…	58
	安全装置…	59
	異常時の処置方法…	60
長く使つていただくために	長期間使用しない場合…	60
	日常の点検・手入れのしかた…	61
	仕様…	65
	アフターサービス…	66

安全に正しく使用していただくために

- ご使用の前に、この「安全に正しく使用していただくために」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

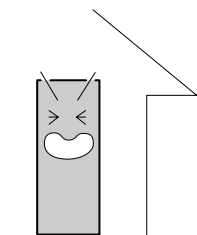
- 絵表示について次のような意味があります。

	一般的な警告・注意		高温注意		接触禁止
	感電注意		一般的な禁止		分解禁止
	火災注意		火気禁止		必ず行うこと

危険

屋内に設置しない

(酸欠事故・不完全燃焼の原因)



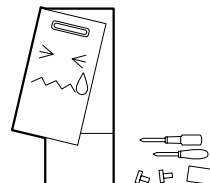
屋外設置型ですので、絶対に屋内には設置しないでください。

酸欠・不完全燃焼を起こして大変危険です。

警告

分解・修理・改造の禁止

(火災・感電・事故の原因)



分解・改造を行わないでください。排熱利用給湯暖房ユニットやリモコンの設置・移設・付帯工事・修理をする場合は必ず担当のメンテナンス会社に依頼してください。

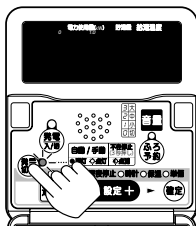
火災・感電・事故の原因になります。

警告

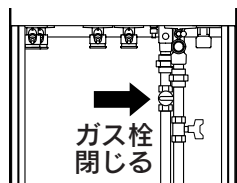
ガス漏れに注意（火災の原因）

ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用を中止して発電切替スイッチを約3秒間押して発電を停止し、ガス栓を閉じ、販売店またはもよりのガス会社にご連絡ください。

3 ページ



閉じる



ガス栓
閉じる



絶対に火をつけたり、電源プラグの抜き差し、電気器具の「入・切」はしないでください。また長期間使用しない場合は、必ず「長期間使用しない場合」に従ってください。

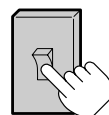
60 ページ



火気禁止



禁止



ガスの種類・電源の確認

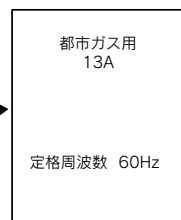
（不完全燃焼・爆発着火・火災の原因）

必ず排熱利用給湯暖房ユニットの銘板に表示してあるガスの種類（ガス種・ガスグループの区分）で使用してください。不完全燃焼・爆発着火・火災の原因になります。銘板は排熱利用給湯暖房ユニット本体の右図の位置に貼ってあります。

●ガス種は13A、電源は单相3線式100/200V、定格周波数は60Hzです。



確認



ガス

電源

やけどに注意



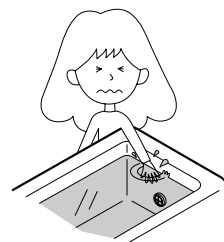
高温注意



シャワーを使用するときや、入浴するときには手で湯温を確かめてください。またシャワーの使用者以外は給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出てびっくりすることがあります。特に小さなお子様には注意してください。



高温注意



沸き上げ中や沸き上げ直後は循環アダプターから熱い湯が出ますので、注意してください。



接触禁止



使用中や消火直後は排熱利用給湯暖房ユニットの排気部が高温になっています。絶対に手を触れないでください。



禁止



床暖房の上で長時間すわったり、寝そべったりしないでください。低温やけどのおそれがあります。

安全に正しく使用していただくために

警告

異常時の処置

運転中に異常を感じたり、地震、火災などの緊急の場合は次の処置を行ってください。

1 暖房端末機の運転スイッチを「切」にする

2 給湯栓を閉じる

3 発電切替スイッチを約 3 秒間押す (ガス発電・給湯暖房機の全停止)

故障表示が出ていないか確認してから台所リモコンの発電切替スイッチを約 3 秒間押してください。

発電切替ランプが点滅し、ガスエンジン発電ユニットが停止します。

4 専用ブレーカーを「切」にする

5 ガス栓、給水元栓を閉じる

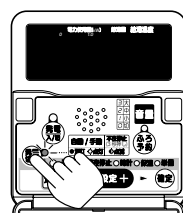
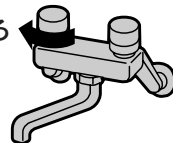
6 故障・異常を処置する

故障・異常の見分けかたと処置方法に従って処置してください。

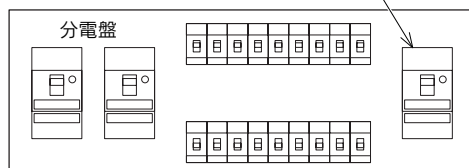
55～60ページ

7 担当のメンテナンス会社に連絡する

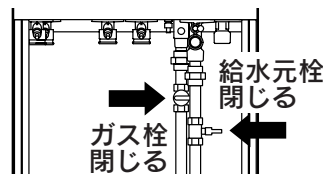
閉じる



専用ブレーカー



※専用ブレーカーは各家庭によって設置状態が異なります。

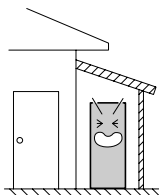


囲い禁止

(酸欠事故・不完全燃焼・火災の原因)



禁止

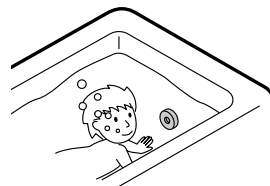


設置後、排熱利用給湯暖房ユニットや排気部を波板やビニルなどで囲んで屋内状態にしないでください。酸欠事故が発生したり、不完全燃焼・火災の原因になります。

子どもに注意 (事故の原因)



禁止



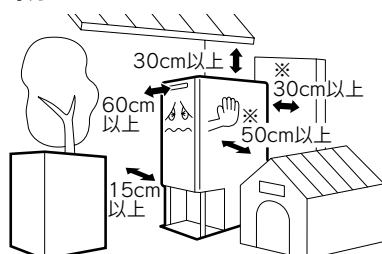
浴そうの循環アダプター付近で、もぐったりすると思わぬ事故につながります。特に小さなお子様には注意してください。

警告

火災の予防 (不完全燃焼・火災・爆発の原因)



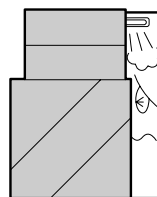
確認



火災予防のため十分な離隔距離をとってください。
(※はサービススペースとして必要な距離です。)



禁止

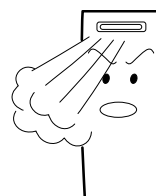


給気部・排気部の周囲に物を置かないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。
(給気部は背面にあります。)

排熱利用給湯暖房ユニットの近くに引火性のもの(ガソリン・ベンジン、洗濯物、紙、木材など)、スプレー缶等を置かないでください。またスプレー缶等を使用しないでください。



火災注意



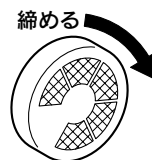
循環アダプターのフィルターは必ずつける

(故障の原因)

循環アダプターのフィルターをはずして使用しないでください。
循環ポンプに髪の毛やゴミが詰まり故障の原因になります。



励行



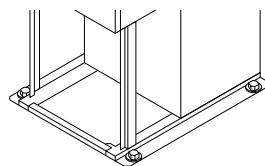
注意

機器の固定確認 (事故の原因)

排熱利用給湯暖房ユニットがアンカーで固定されていることを確認してください。転倒すると危険です。



確認



パネルヒーターに注意

(やけどの原因)



接触禁止

パネルヒーターの表面は触らないでください。
やけどのおそれがあります。
特に小さなお子様のいる家庭では注意してください。

床暖房の使用について



禁止

床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。
床材の割れ・そり・すき間の原因になります。
またカーペット式床暖房に鋭利なものなどを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。

安全に正しく使用していただくために

⚠️ 注意

指定の機器と接続すること

(故障・やけどの原因)



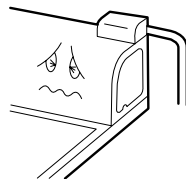
確認

指定のガスエンジン発電ユニット以外の機器と接続しないでください。
故障・やけどの原因になります。

太陽熱温水器との接続禁止



禁止

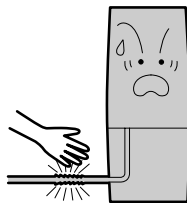


太陽熱温水器と接続することはできません。

感電に注意



感電注意



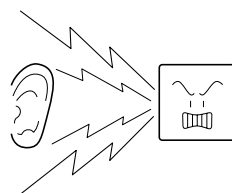
電源コードがいたんでいる場合はさわらないでください。感電の原因になります。

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない

(聴覚障害のおそれ)



禁止



大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

エンジン冷却水や不凍液に注意



注意

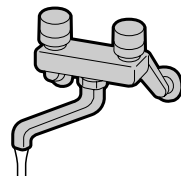


エンジン冷却水や不凍液を万一飲んだ場合はすぐに吐かせ、医師の診断を受けてください。

用途に注意 (事故の原因)



確認



一般家庭の給湯、シャワー、追いだき、暖房以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

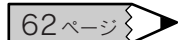
逃し弁の確認

(事故の原因)



確認

逃し弁が故障したまま使用すると、事故の原因になります。「日常の点検・手入れのしかた」に従って作動テストを行ってください。



排水時のやけどに注意

(やけどの原因)



高温注意

排熱利用給湯暖房ユニット内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。75℃程度の高温水が排水される場合があります。

積雪時の注意 (事故の原因)

積雪や屋根から落ちた雪により排気部・給気部がふさがれないように点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気部・給気部をふさぐおそれがある場所に設置している場合は、給排気に影響がないように防雪の処置を行ってください。



注意

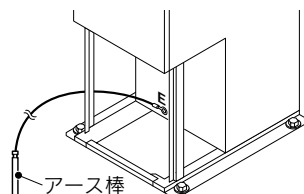
⚠️ 注意

アースの確認

アースが確実に取り付けられていることを確認してください。(D 種接地工事)



確認



お願い

リモコンについて (故障・変色・変形の原因)



注意



リモコンに故意に水をかけないでください。また子供がいたずらしないように注意してください。故障の原因になります。



禁止



リモコンを掃除するときはシンナーやベンジン等を使用しないでください。変色・変形の原因になります。

石けんの使用禁止 (故障の原因)



禁止

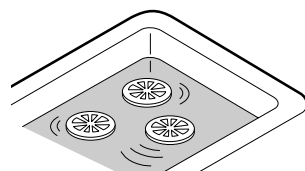


浴そう内では石けんやボディシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。

循環アダプターのフィルターの詰まりに注意 (故障の原因)



禁止

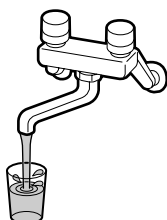


浴そうにレモン等を浮かべて使用しないでください。循環不良になりご希望の温度にならないおそれがあります。

飲用について



励行



機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は飲まない、また調理に使用しないでください。雑用水として使用してください。

乾電池に関する注意



禁止

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もしお客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理をしてください。

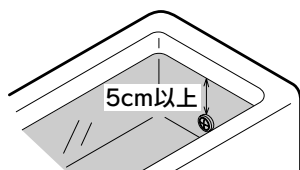
安全に正しく使用していただくために

お願い

ふろの空だき禁止 (故障の原因)



確認

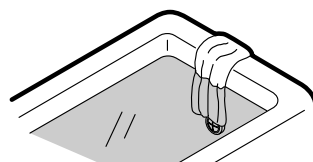


追いだきをするときには循環アダプターから約5cm以上の水位を保ってください。

循環アダプターをふさがない



禁止

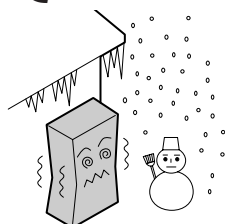


浴そうの循環アダプターを手や足、タオルなどでふさがないでください。

凍結予防について



励行



冬期には凍結に充分注意し、凍結予防の処置を行ってください。

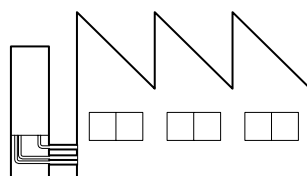
50～53ページ

家庭用以外のご使用について

(故障の原因)



禁止

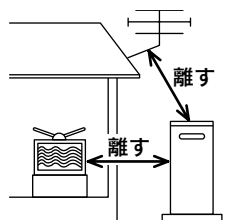


この排熱利用給湯暖房ユニットは家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用に使用して事故が発生した場合は、保証の対象外になります。

テレビ・ラジオのアンテナから5m以上離す



注意



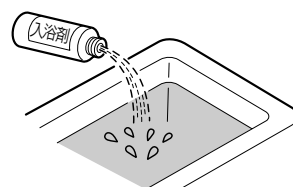
テレビ・ラジオに映像の乱れや雑音が生じることがあります。

水質・入浴剤に注意

(故障・腐食の原因)



禁止



温泉水やイオウ、酸、アルカリ、油分を含んだ入浴剤、洗剤は、ふろポンプの故障や熱交換器の腐食の原因になりますので使用しないでください。また注意文をよく読んでから使用してください。

電源について

凍結予防運転のために電気を使用しています。
緊急の場合以外は分電盤の専用ブレーカーを「切」にしないでください。



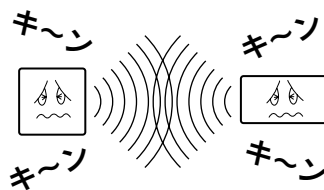
励行

リモコンの設置場所について

インターホンナビリモコンは台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合、インターホン通話をするときハウリング(キーン等の大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、担当のメンテナンス会社に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。



励行



お願い

長期間使用しない場合の処置



励行

長期間使用しない場合は必ず「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」を行ってください。
冬期に電源を切る場合は水抜きを行ってください。

39・51・52 ページ

指定部品以外は使用しない

(故障の原因)



励行

部品は必ず指定部品を使用してください。

混合水栓について



励行

必ず逆止機能付きの混合水栓を使用してください。混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用し、泡沫水栓は使用しないでください。サーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)の使用をおすすめします。その場合はリモコンの設定温度は混合水栓の設定温度より高めに設定して使用してください。

断水的时候は

(故障の原因)



励行



給湯スイッチを「切」にしてください。

安全装置が作動したときは

(火災・事故の原因)



励行

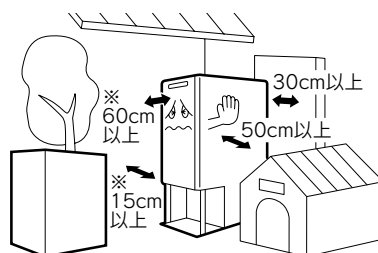
安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災・事故の原因になります。

55～60 ページ

サービススペースの確保



確認



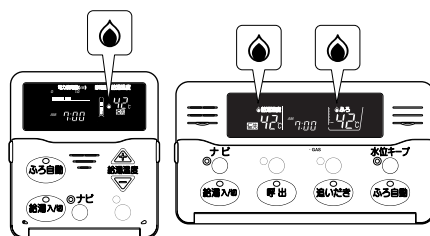
機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

(※は火災予防上必要な距離です。)

点火・着火・消火の確認



確認



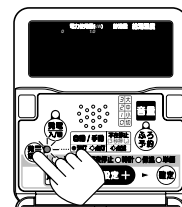
リモコンの補助熱源機燃焼表示で点火・着火・消火を確認してください。

落雷のおそれがあるときの処置 (故障の原因)

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときはすみやかにガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)を行い、分電盤の専用ブレーカーを「切」にしてください。



励行

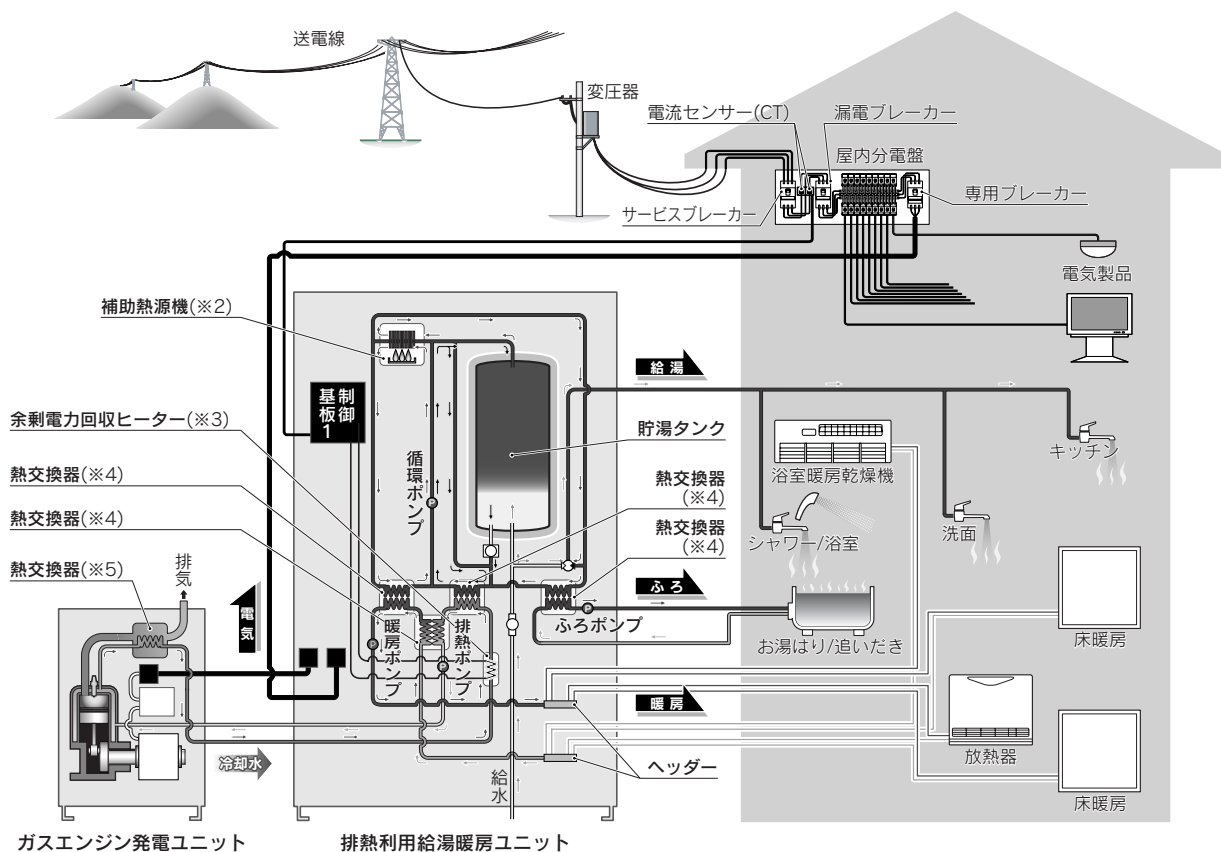


特 長

- ガスエンジン発電ユニットで発電したお得な電気が使用できます。
- ガスエンジン発電ユニットで発電したときに発生する排熱を利用して貯湯タンクに貯めた水を沸かしたり、暖房に利用したりすることができます。
- 各家庭の電気の使用時刻やお湯や暖房の使用状況を記憶し自動的にガスエンジン発電ユニットで発電を行います。＜学習機能＞
- 省エネ運転を音声でお知らせするナビリモコンと台所・浴室間で通話ができるインターホンナビリモコンが選べます。
- お湯が足りないときは補助熱源機で沸かすことができます。
- 断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
- 電気が余った場合は余剰電力回収ヒーターで熱に変えてお湯を沸かします。

54ページ

ガス発電・給湯暖房機のしくみ (※1)

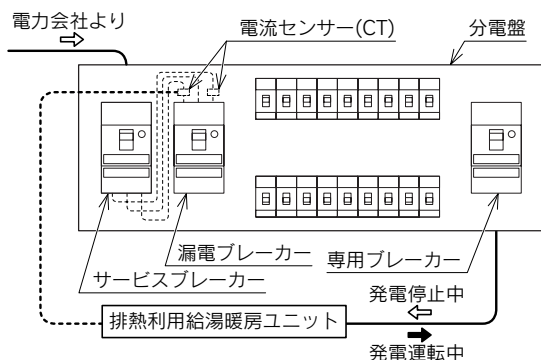


- ※1 ガス発電・給湯暖房機とはガスエンジン発電ユニットと排熱利用給湯暖房ユニットの組み合わせです。
- ※2 貯湯タンクのお湯がなくなると補助熱源機でお湯を沸かします。
- ※3 ご家庭で発電した電気が余った場合は余剰電力回収ヒーターでお湯を沸かして利用できます。
- ※4 排熱や補助熱源機によって、貯湯タンクにお湯を貯めたり、暖房や追いだしを行います。
- ※5 発電したときに出る排熱を利用して温めます。

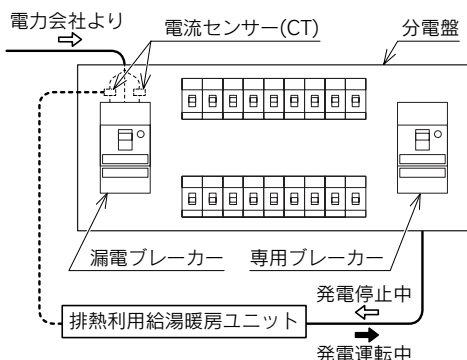
各部のなまえとはたらき

分電盤・専用ブレーカー

●契約電流が60A以下の場合

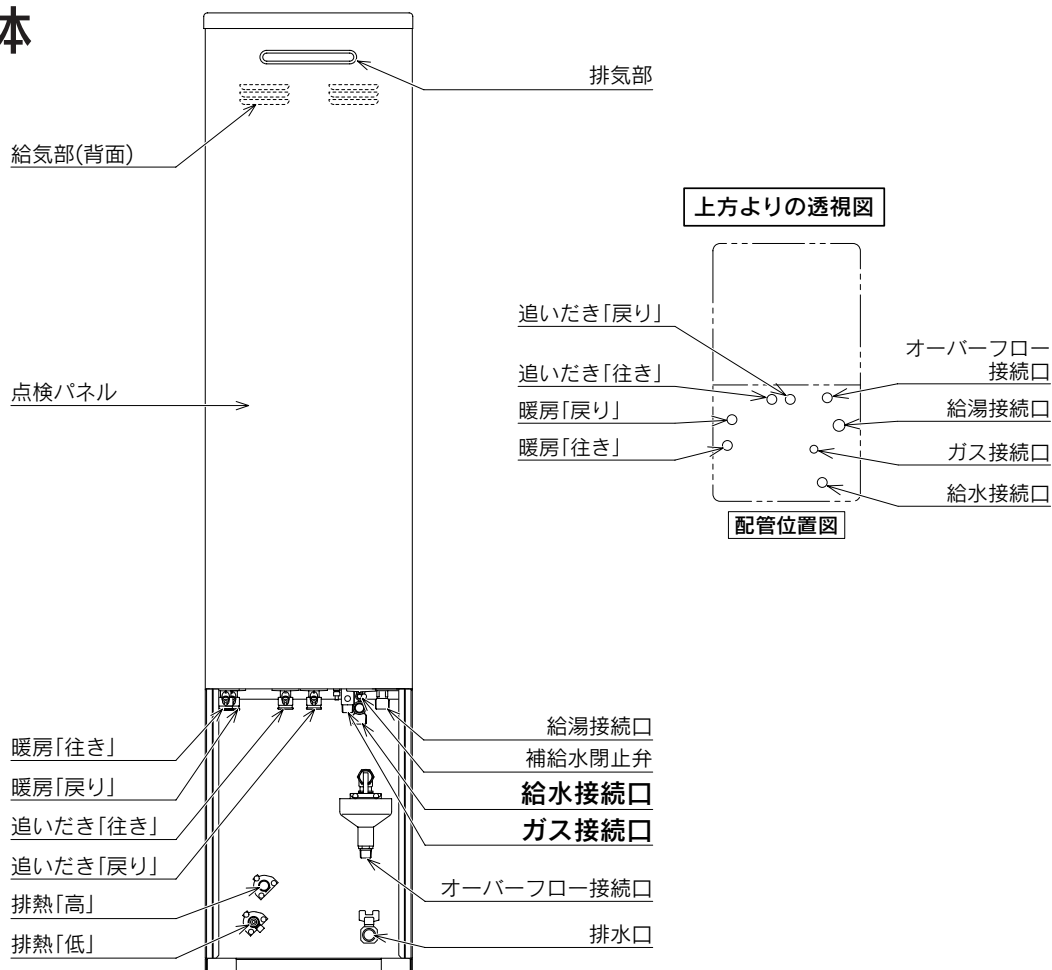


●契約電流が60Aを超える場合



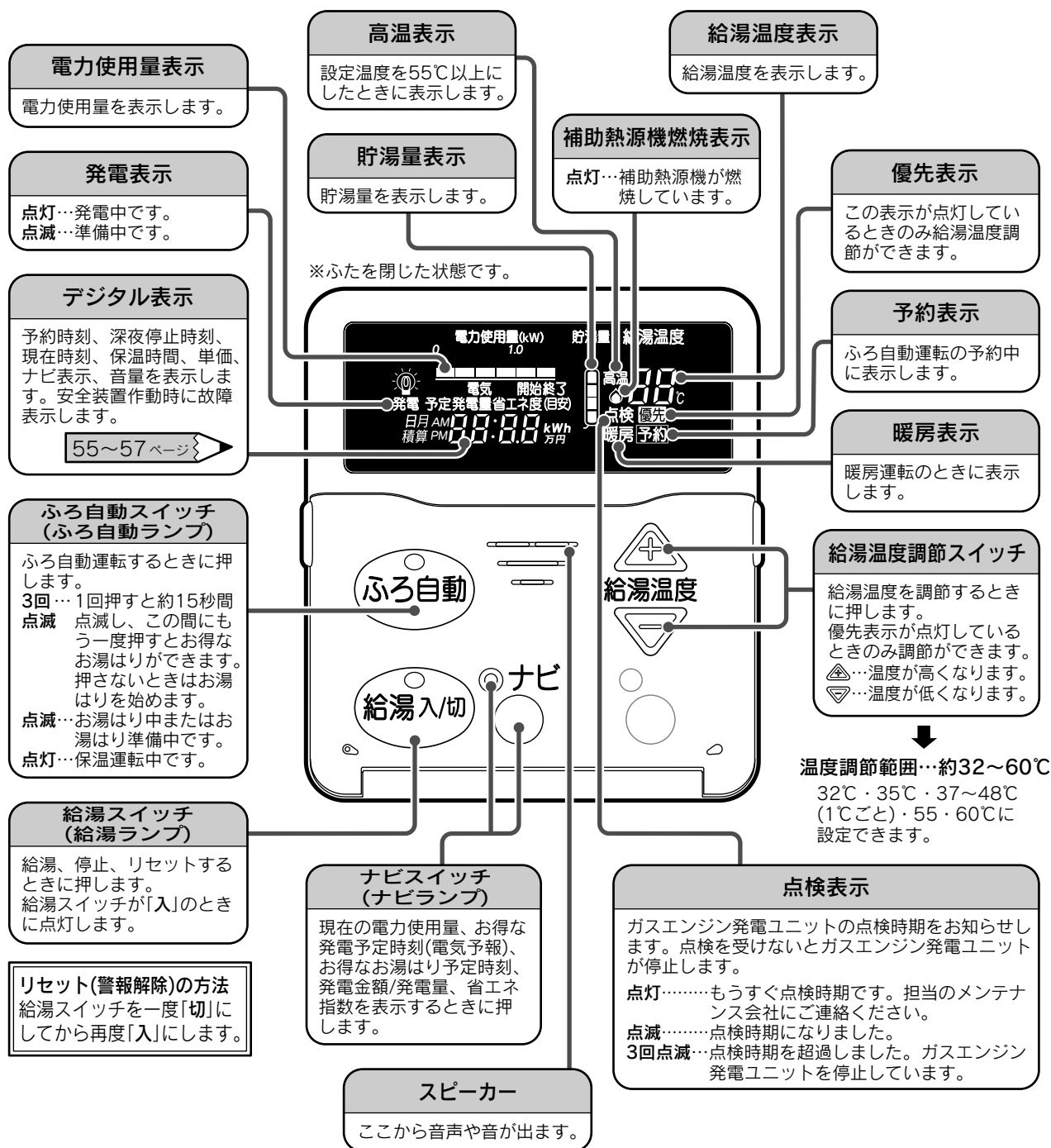
- 漏電ブレーカー：漏電すると自動的に電源が「切」になります。
- サービスブレーカー：規定以上の電流が流れると自動的に電源が「切」になります。契約電流が60Aを超える場合はサービスブレーカーはありません。
- 電流センサー(CT)：電気の逆流を防いだり、電気の使用パターンを学習するために排熱利用給湯暖房ユニットにつながっています。(はずさないでください。)
- 専用ブレーカー：排熱利用給湯暖房ユニットおよびガスエンジン発電ユニットへの電源を「入・切」します。また発電した電気はここを逆向きに流れて来て建物内に供給されます。

本体



各部のなまえとはたらき

台所リモコン(ナビリモコンの場合)

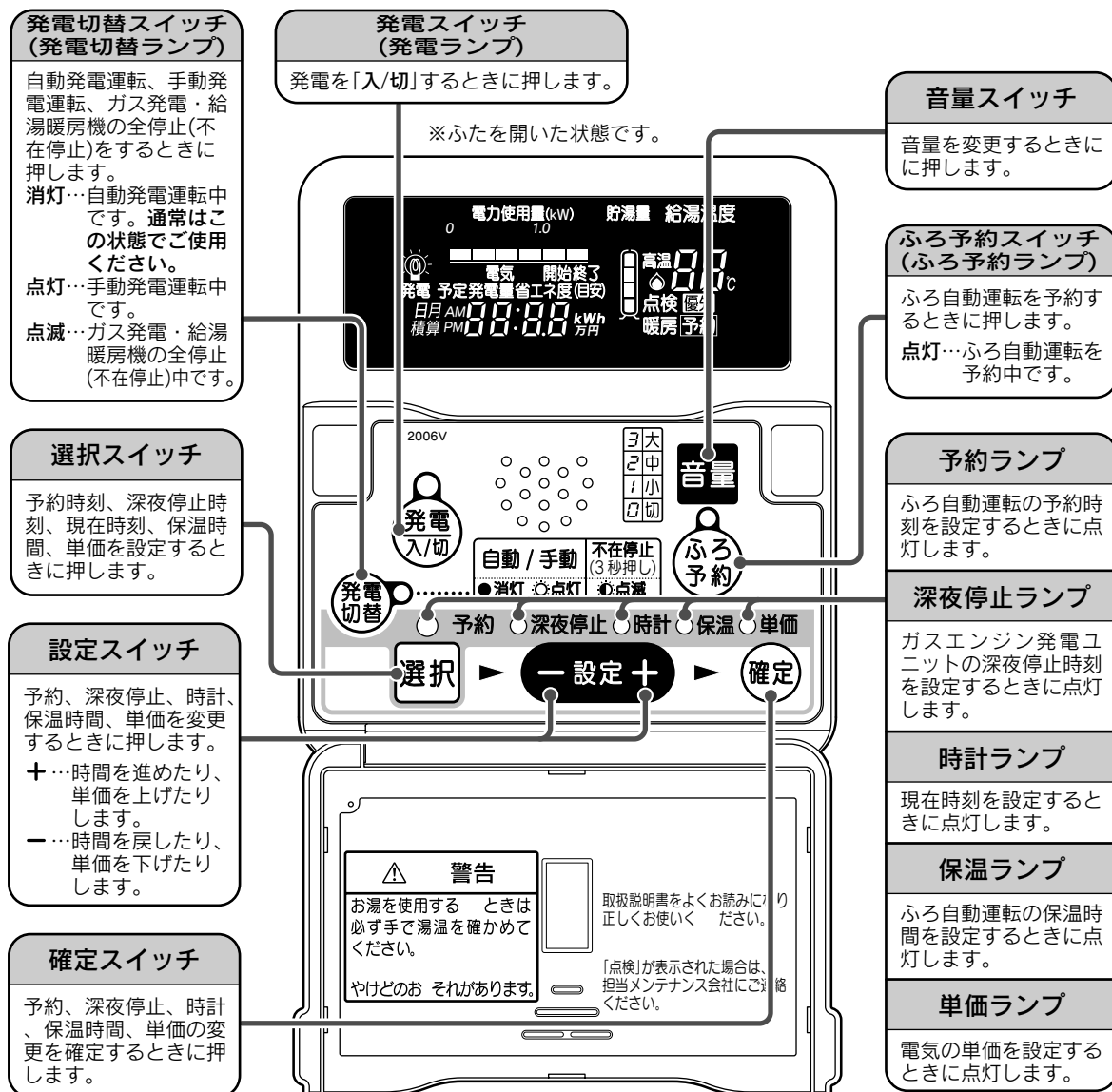


※音声ガイドの種類は 46 ～ 49 ページを参照してください。
表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

表示節電モード

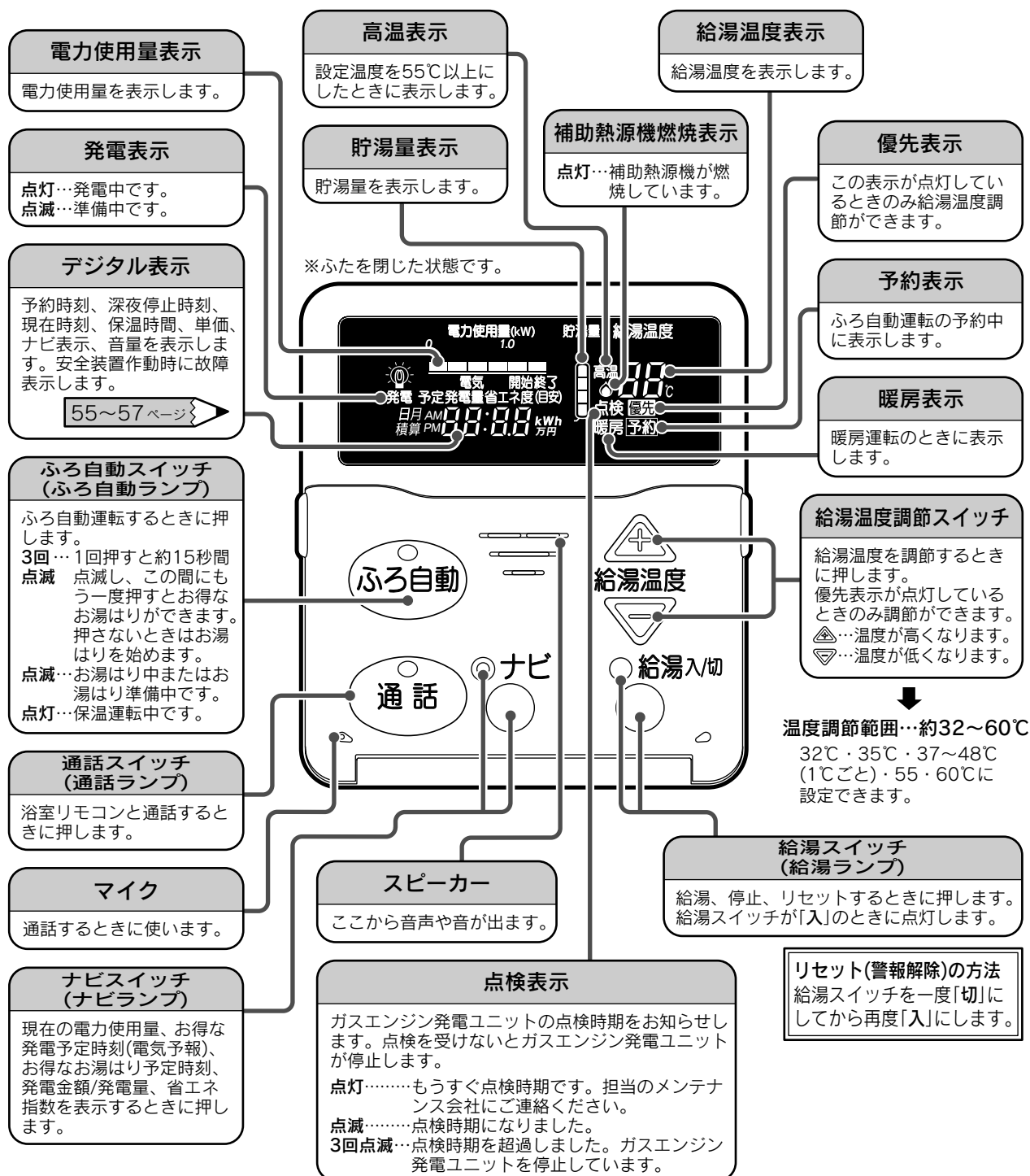
●給湯スイッチが「入」の場合

ガス発電・給湯暖房機を使用(発電・給湯・ふろ運転・暖房)しない状態が約5分間続いた場合は、自動的に表示を暗くして表示節電モードになります。表示節電モード中にリモコンを操作すると表示は元の明るさになります。ガス発電・給湯暖房機の使用がなければ約10秒後に再び表示節電モードになります。ただし、給湯温度設定が55℃以上の場合は表示節電モードになりません。



各部のなまえとはたらき

台所リモコン(インターホンナビリモコンの場合)



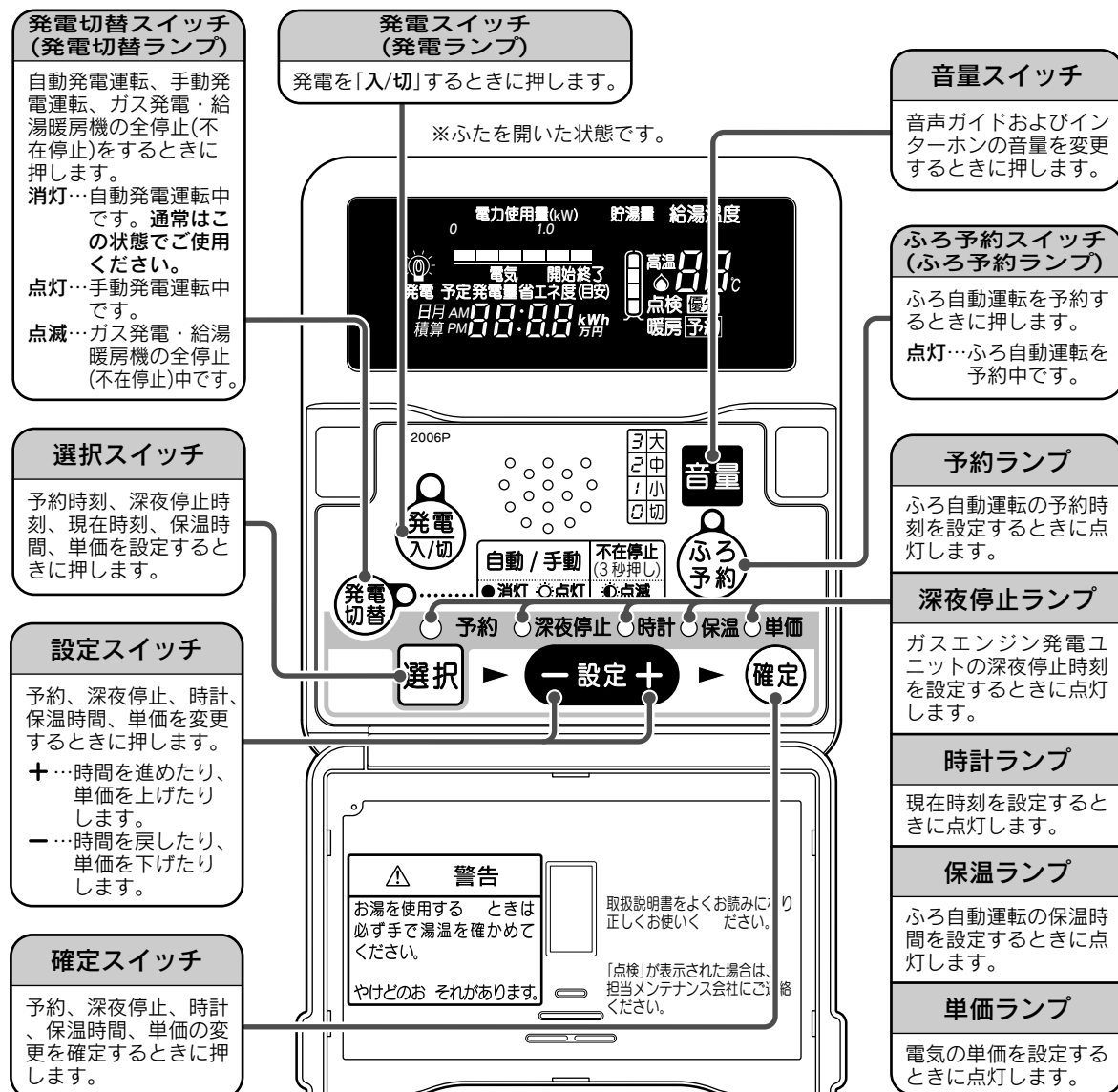
※音声ガイドの種類は 46 ~ 49 ページを参照してください。

表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

表示節電モード

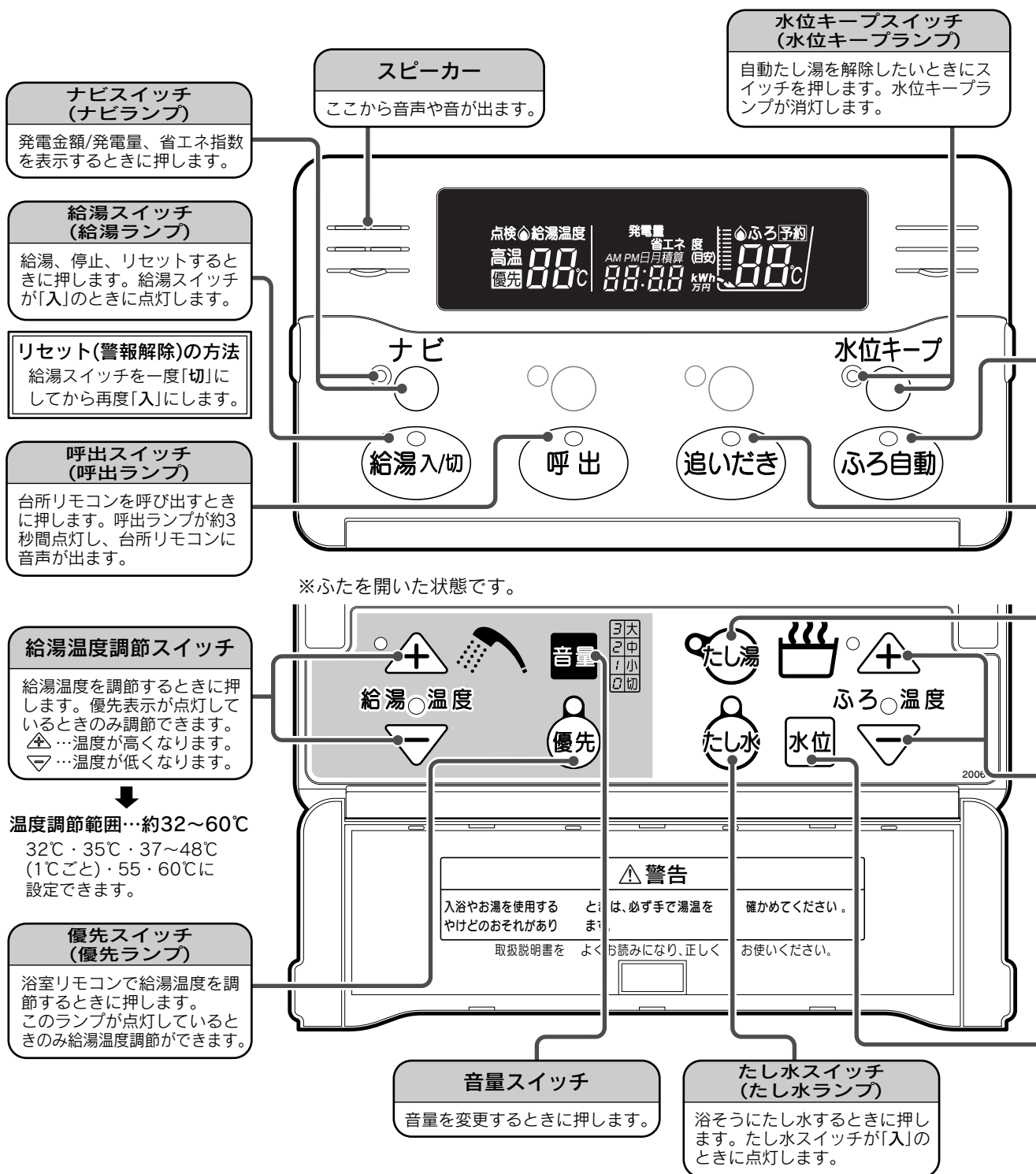
●給湯スイッチが「入」の場合

ガス発電・給湯暖房機を使用(発電・給湯・ふろ運転・暖房)しない状態が約5分間続いた場合は、自動的に表示を暗くして表示節電モードになります。表示節電モード中にリモコンを操作すると表示は元の明るさになります。ガス発電・給湯暖房機の使用がなければ約10秒後に再び表示節電モードになります。ただし、給湯温度設定が55℃以上の場合は表示節電モードになりません。



各部のなまえとはたらき

浴室リモコン(ナビリモコンの場合)

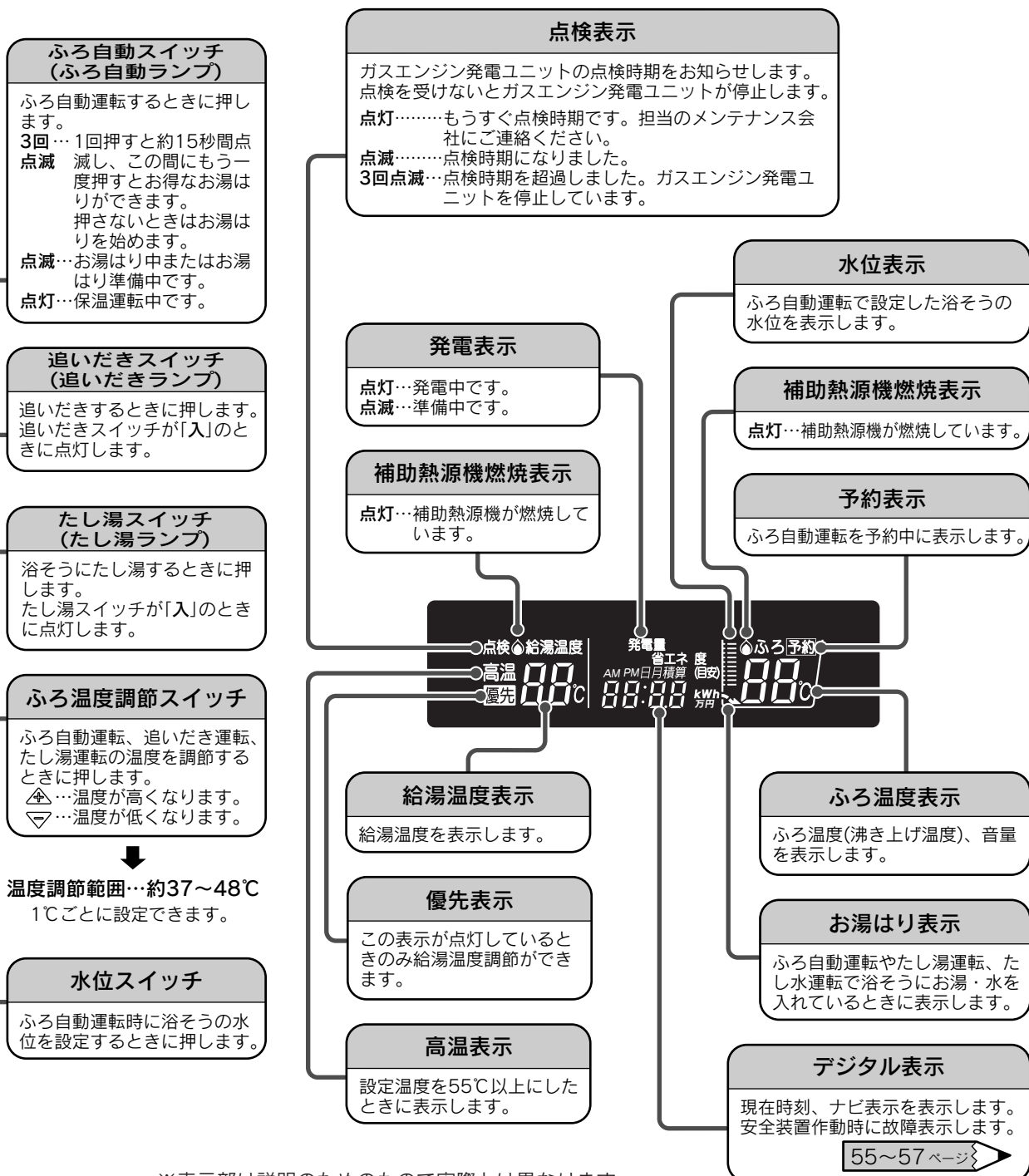


※音声ガイドの種類は 46 ～ 49 ページを参照してください。

表示節電モード

●給湯スイッチが「入」の場合

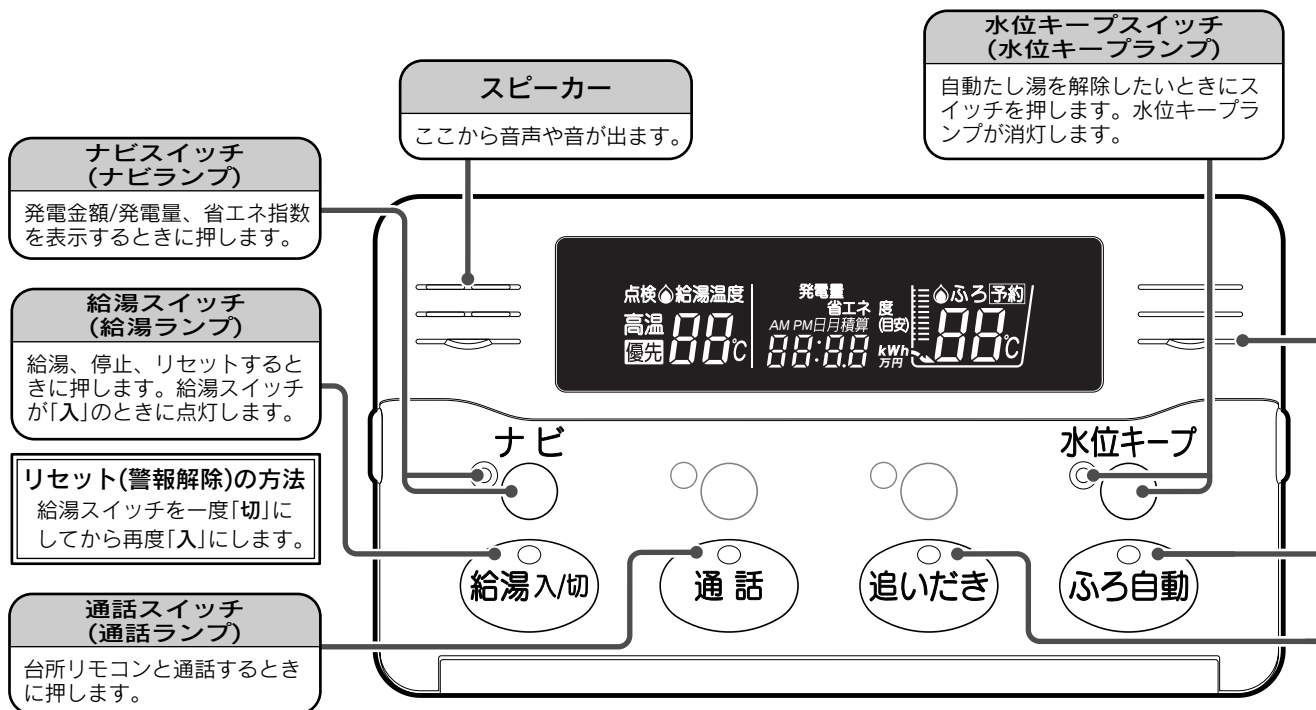
ガス発電・給湯暖房機を使用(発電・給湯・ふろ運転・暖房)しない状態が約5分間続いた場合は、自動的に表示を暗くして表示節電モードになります。表示節電モード中にリモコンを操作すると表示は元の明るさになります。ガス発電・給湯暖房機の使用がなければ約10秒後に再び表示節電モードになります。



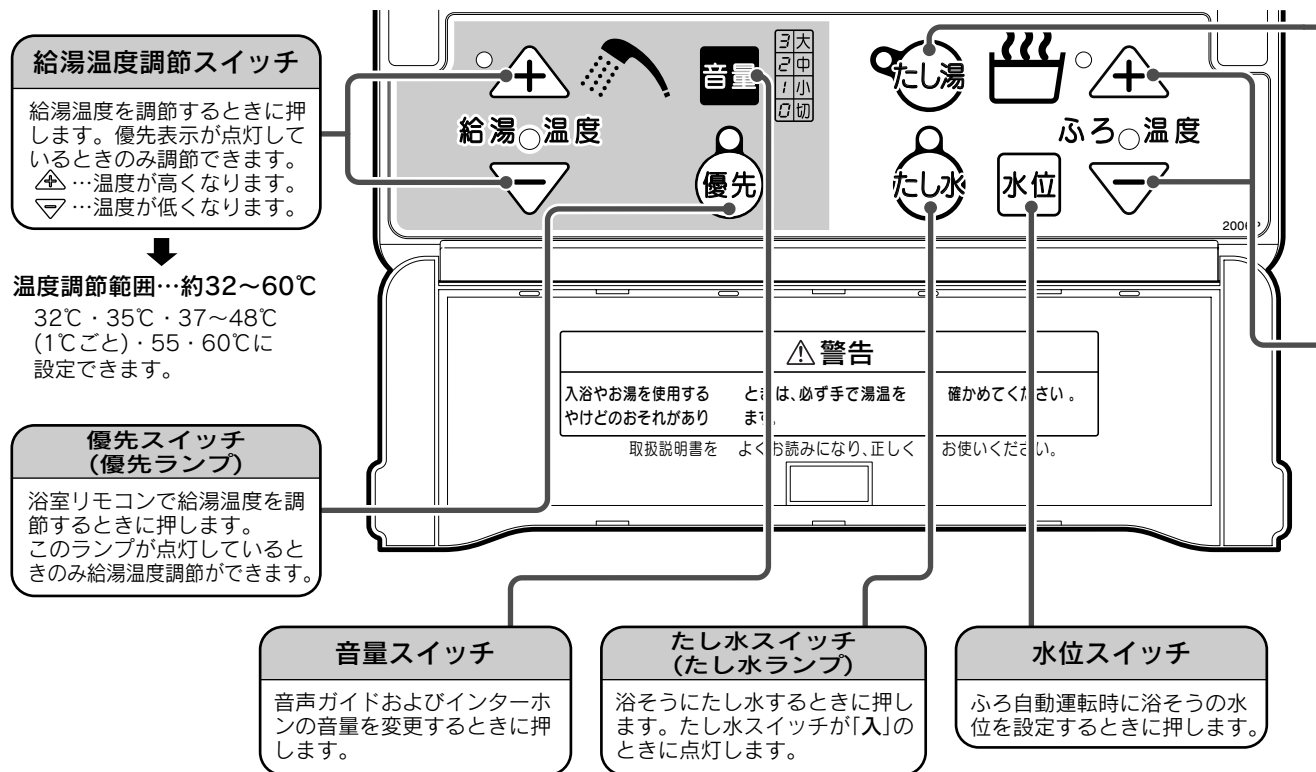
※表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

各部のなまえとはたらき

浴室リモコン(インターホンナビリモコンの場合)



※ふたを開いた状態です。



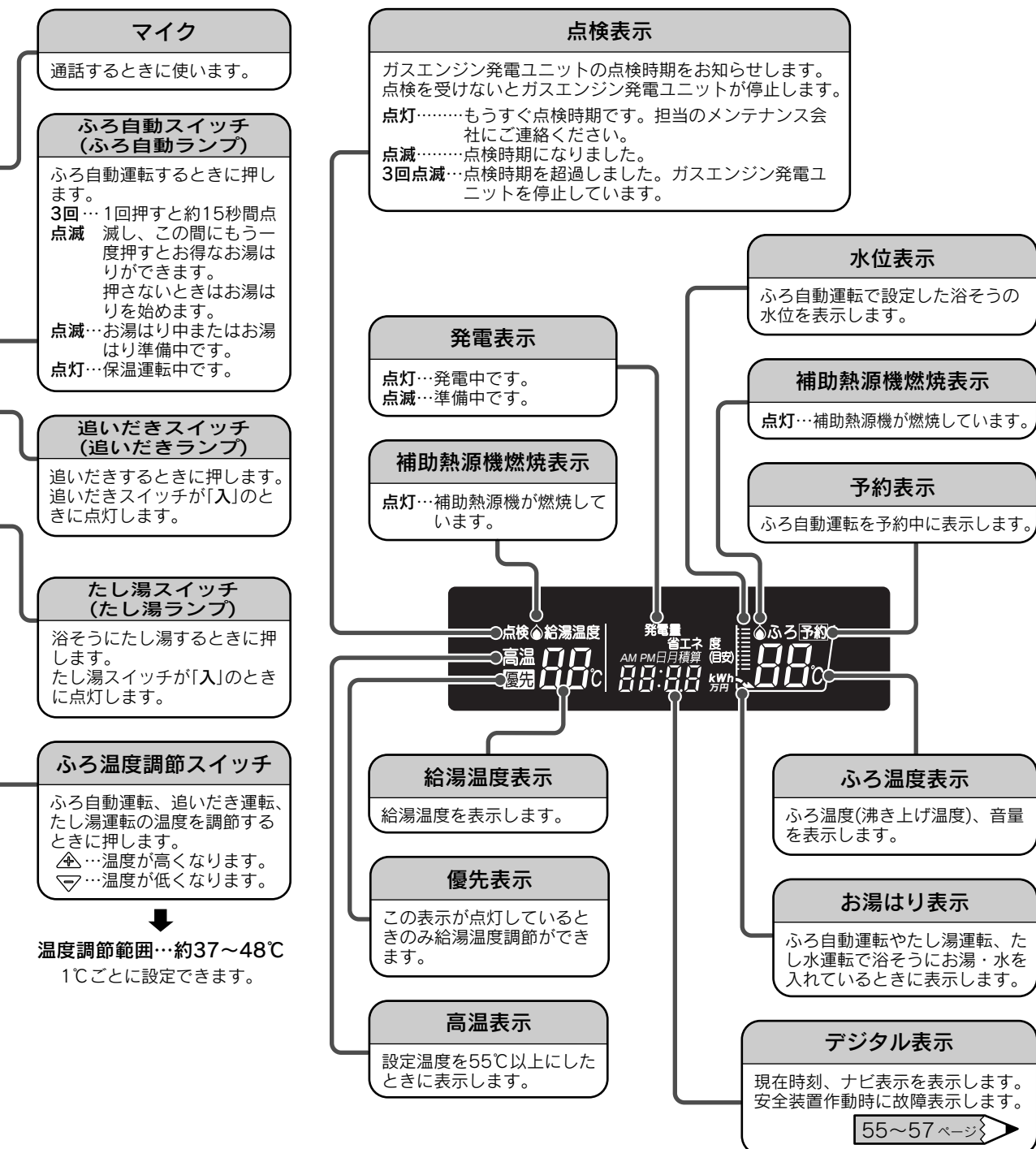
※音声ガイドの種類は 46 ～ 49 ページを参照してください。

表示節電モード

●給湯スイッチが「入」の場合

ガス発電・給湯暖房機を使用(発電・給湯・ふろ運転・暖房)しない状態が約5分間続いた場合は、自動的に表示を暗くして表示節電モードになります。表示節電モード中にリモコンを操作すると表示は元の明るさになります。ガス発電・給湯暖房機の使用がなければ約10秒後に再び表示節電モードになります。

ただし、給湯温度設定が55℃以上の場合は表示節電モードになりません。



※表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

使用方法

設置状態の確認

1 設置場所

排熱利用給湯暖房ユニットの設置場所は次のことを満たしていることを確認してください。

- 水平な場所
- 給気部・排気部の周囲に冷暖房装置や換気扇などの吹出口や吸込口がない場所
- 給気・排気が充分できる場所(波板などで囲まないでください。)
- 落下物の危険がない場所
- 周囲に可燃物や引火性のものがない場所
- 給気部・排気部に強い風が吹き込まない場所
- 足場などを組まなければメンテナンスできない高所でない場所
- 排気部からの吹き出し音が隣家の迷惑にならない場所
- 階段、避難口から離れた場所
- 排気部から吹き出される排気ガスが建物の外壁や窓にあたらない場所

2 周囲の防火処置

火災予防のため、右図を参考に周囲の可燃物から防火上有効な距離をとってください。

(※はサービススペースとして必要な距離です。)

3 排気部の周囲

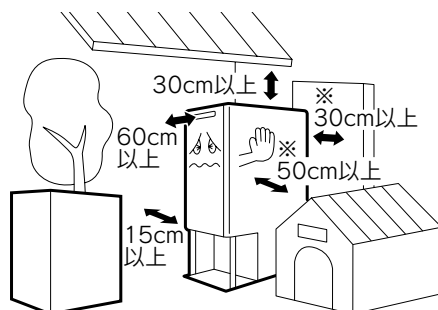
排気部から吹き出される排気ガスによって、加熱されると危険なものを排熱利用給湯暖房ユニットの近くに置かないでください。

(ガソリン、ベンジン、灯油、スプレー缶等)

また窓などの建物開口部が近くにない場所に設置してください。



確認



ご使用前の準備と確認

1 排熱利用給湯暖房ユニットおよび周辺の確認

給気部・排気部がふさがれていないことを確認してください。

排熱利用給湯暖房ユニットの近くにガソリン・ベンジンなど引火性のものや燃えやすいものを置かないでください。



確認

2 給水元栓を開く

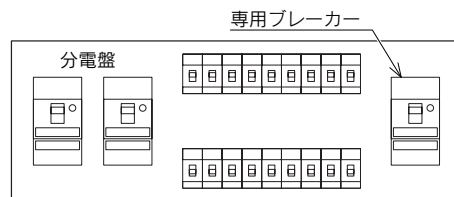
3 ガス栓を開く

ガス漏れがないことを確認してください。

4 分電盤の専用ブレーカーを「入」にする

リモコンに「250」が点滅した場合は「2 排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」の「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って通水を行ってください。

53 ページ



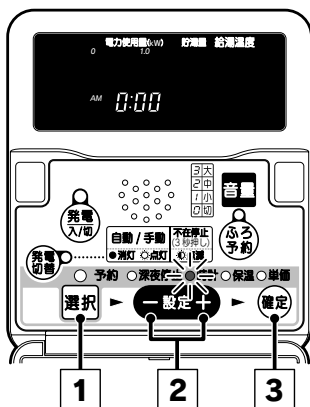
※専用ブレーカーは各家庭によって設置状態が異なります。

5 水漏れの確認

排熱利用給湯暖房ユニットや接続部から水漏れしていないことを確認してください。

現在時刻の設定

台所リモコン



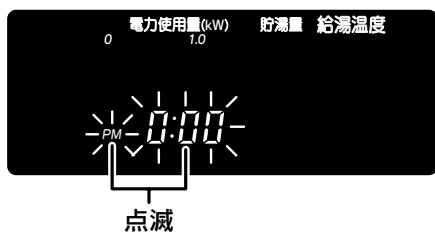
注意

- この排熱利用給湯暖房ユニットは学習機能により、最適な時間帯を選んでガスエンジン発電ユニットを運転します。必ず時刻設定をしてください。設定していない場合は給湯スイッチを押すと音声で「時刻を合わせてください」とお知らせします。
- 時刻設定は台所リモコンで行います。
- 「使用方法」はすべてナビリモコンで説明しています。

1 選択スイッチ[1]を押して時計ランプを点灯させる



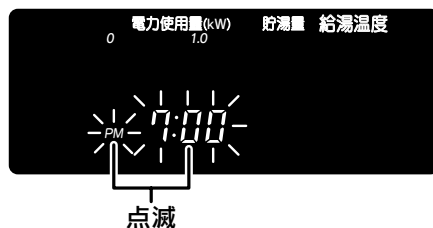
台所リモコン表示部



2 設定スイッチ[2]で現在時刻を設定する



台所リモコン表示部



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

3 確定スイッチ[3]を押す



台所リモコン表示部



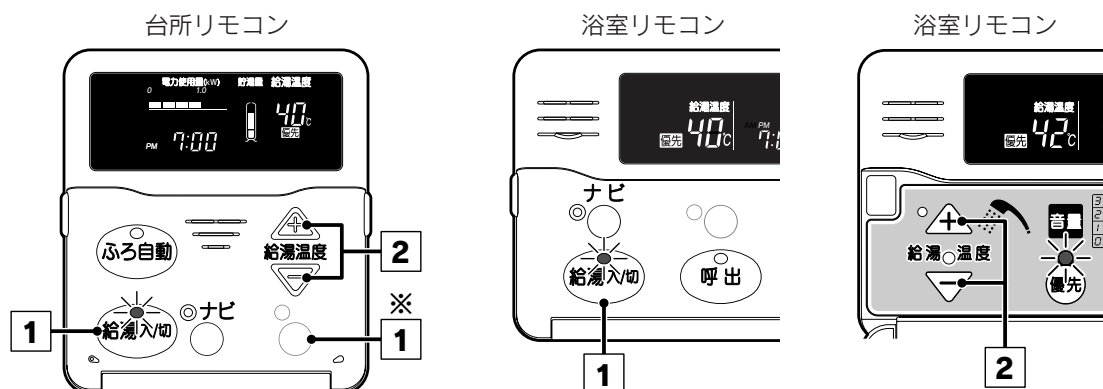
音声で「変更されました」とお知らせし、設定前の表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 停電により「PM 0:00」が点滅しているときは現在時刻を設定し直してください。
- 時計の精度は月差±30秒以内です。

使用方法

給湯



インターホンナビリモコンの場合は※が給湯スイッチです。

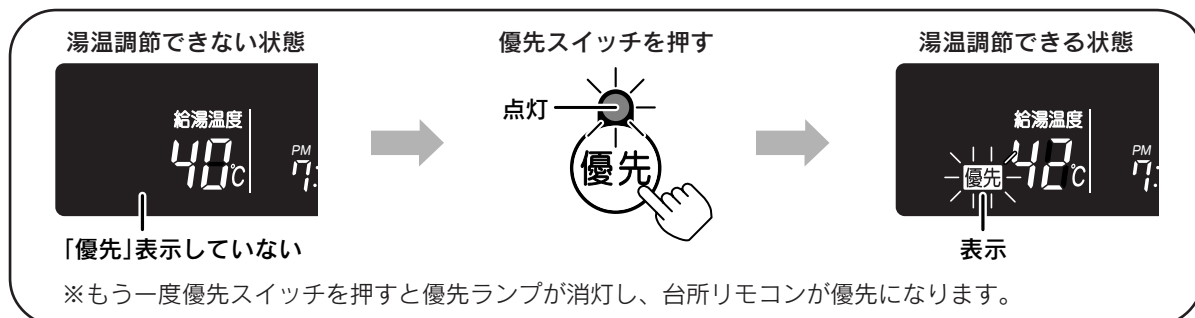
警告

- シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- シャワーを使用するときは、いきなり体や頭にかけて、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 給湯設定温度を 55℃ 以上に設定したときは、
 - ・音声で「あついお湯が出ます」
 - ・高温表示の点灯
 でお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。55℃ 以上の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- 停電時や故障時にお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

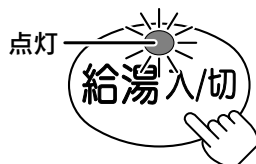
お知らせ

- 給湯中に追いきや暖房をすると給湯量が減ったり、給湯温度が変化することがあります。
- ふろ自動運転、たし湯運転中に給湯すると給湯優先となり、それぞれの運転は一時中断します。

浴室リモコンでお湯の温度が調節できない場合は、以下の操作を行ってください。—— 優先切替

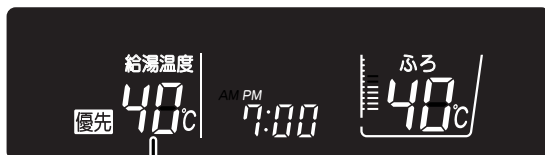


1 給湯スイッチ^①を「入」にする



前回に設定した温度(例：40℃)

浴室リモコン表示部

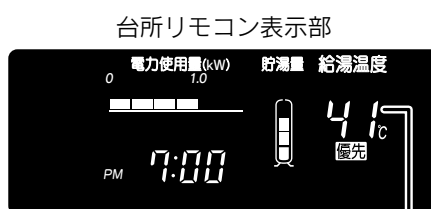
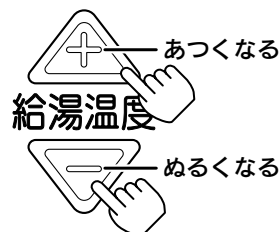


前回に設定した温度(例：40℃)

給湯スイッチを押したリモコンの優先表示(優先ランプ)が点灯します。

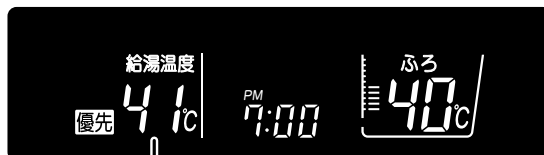
給湯設定温度が55℃以上の場合は音声で「あついお湯が出ます」とお知らせします。

2 給湯温度調節スイッチ^②を押す (一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)



設定温度

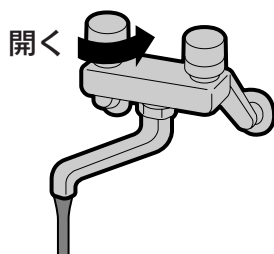
浴室リモコン表示部



設定温度

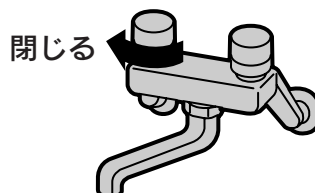
優先表示(優先ランプ)の点灯しているリモコンで温度調節ができます。設定温度は32℃・35℃・37℃～48℃(1℃ごと)・55・60℃の範囲で調節できます。設定温度が55℃以上の場合は高温表示が点灯し音声で「お湯の温度が変更されました。あついお湯が出ます」、48℃以下の場合は「お湯の温度が変更されました」とお知らせします。

3 給湯栓を開く



お湯が出ます。

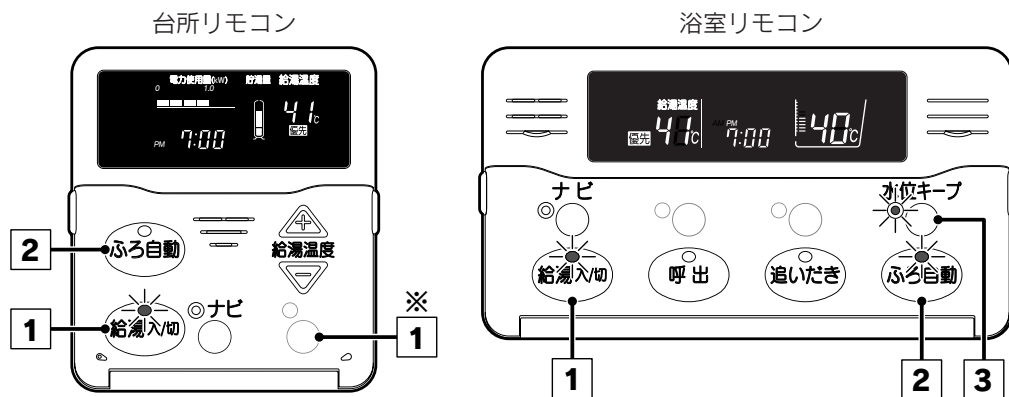
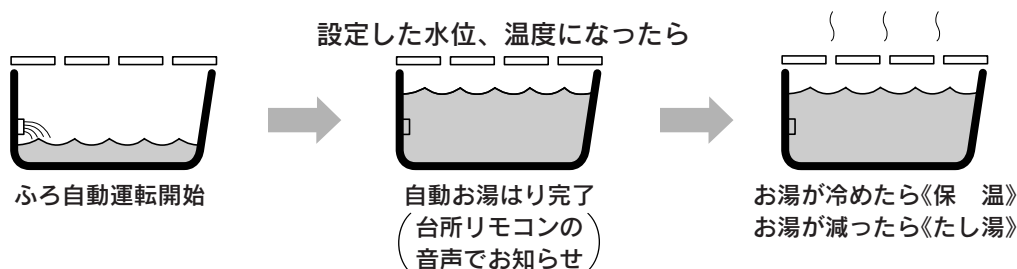
4 給湯栓を閉じる



次回使用するときには、給湯栓を開くだけで使用できます。長時間使用しないときはリモコンの給湯スイッチを「切」にしてください。

ふろ自動運転

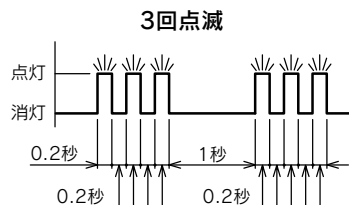
自動的に浴そうにお湯をはり《自動お湯はり》、その後はお湯が冷めたら沸き上げを繰り返し、お湯が減ったらし湯して水位を保ちます。自動保温、自動し湯を行う運転です。



インターホンナビリモコンの場合は※が給湯スイッチです。

お知らせ

- やけど防止のためふろ設定温度を確認してください。
- ふろ自動運転のお湯はり時間は給湯温度によって、夏期は短く冬期は長くなります。
- 保温運転中は約 20 分に一度ふろポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときはふろ設定温度まで追いだきます。
- 保温時間はお買い上げ時には 4 時間に設定されています。
台所リモコンで保温時間を 0～24 時間に変更することができます。
- ふろ自動運転中に給湯するとお湯はりは一時的に中断します。
給湯量が少ない場合は中断しないことがあります。
- 残り湯がある場合、またはお湯はり中に給湯すると沸き上げ時間が長くなる場合があります。
- 残り湯の有無を検知するため、お湯はり・停止を数回繰り返します。
- 設置後初めてお湯はりを行う場合は必ず浴そうを空にしてください。浴そうにお湯(水)が入っている状態で、ふろ自動運転をするとエラーコード「002」が出てお湯回りを停止します。
このときは、浴そうの水を一度全部抜いてふろ自動運転をやり直してください。
- 水位キープスイッチはふろ自動運転中しか受け付けません。
ふろ自動運転中以外で水位キープスイッチを押すと「受付できません 確認してください」とお知らせします。
- 3 回点滅は図のように 0.2 秒毎に点滅し、1 秒間消灯を約 15 秒間繰り返します。



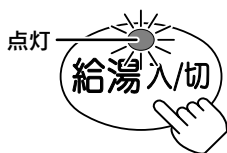
運転前の準備

- (1) 浴そうに排水栓をする。
- (2) 浴そうの循環アダプターにフィルターがついていることを確認する。
- (3) 浴そうにふたをする。
- (4) ふろ設定温度(沸き上げ温度)と水位を確認する。

浴室リモコン表示部



1 給湯スイッチ①を「入」にする

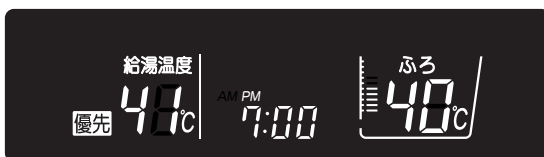


給湯ランプと操作したリモコンの優先表示が点灯します。

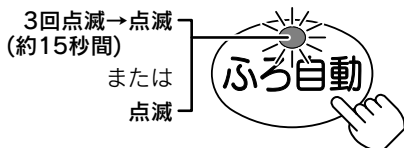
台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



2 ふろ自動スイッチ②を「入」にする



ふろ自動ランプが3回点滅した場合

お得なお湯はりとお湯はりをすぐに選択できます。音声で「お湯はりをします もう一度スイッチを押せばお得なお湯がご利用できます およそ〇〇時頃おふろに入れます」とお知らせします。お得なお湯はりをする場合は3回点滅中(約15秒間)にふろ自動スイッチを押します。お湯はり予定時刻の約1時間前から予定時刻までの間に自動的にお湯はりをはじめます。(水位キープランプ点灯) すぐにお湯はりをする場合は何もしないでください。

浴室リモコン表示部



ふろ自動ランプが点滅した場合

音声で「お湯はりをします」とお知らせし、お湯はりをはじめます。(水位キープランプ点灯)

お湯はり終了後は……

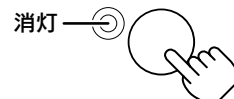
設定した水位までお湯はりすると自動的に停止します。設定温度に沸き上げると台所リモコンから音声で「おふろが沸きました」とお知らせします。その後お湯が冷めたら沸き上げを繰り返し、お湯が減ったらたし湯をして水位を保ちます。保温中はふろ自動ランプが点灯します。

ふろ自動をやめたいときは



ふろ自動スイッチを「切」にします。(ふろ自動ランプ消灯)

自動たし湯をやめたいときは

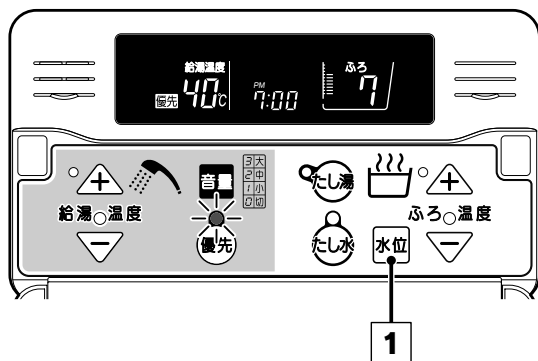


自動たし湯をしない場合は水位キープスイッチ③を「切」にしてください。音声で「水位キープを解除します」とお知らせします。

水位の設定

ふろ自動運転時のお湯はりの水位を設定します。

浴室リモコン



給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

水位スイッチ^①で浴そうの水位を合わせる <一度設定すると記憶します>



浴室リモコン表示部



段が変わる 数字が変わる

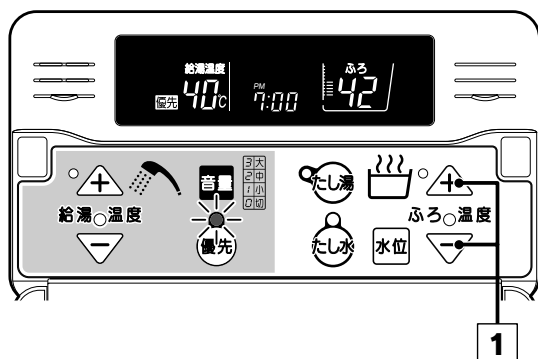
水量は一段目は循環アダプターから約30L、二段目以上は約4cmずつ増えます。水位を変えると音声で「変更されました」とお知らせします。水位スイッチを押すごとに水位が増え、一番上の段から一番下の段に戻ります。

お知らせ

- 洋風バスなど浅い浴そうや循環アダプターの位置によっては、水位設定を高めにするると浴そうから湯があふれる場合があります。また浴そうの大きさによっては設定水位にならない場合があります。

ふろ温度の設定

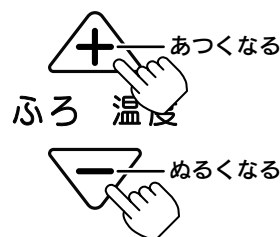
浴室リモコン



給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

ふろ温度調節スイッチ^①を押す

<一度設定すると次回変更するまで記憶しています。>



浴室リモコン表示部



数字が変わる

設定温度は37℃～48℃(1℃ごと)の範囲で調節できます。設定温度を変えると音声で「変更されました」とお知らせします。

ふろ自動運転の予約時刻の設定

台所リモコン



1 選択スイッチ①を押して予約ランプを点灯させる



台所リモコン表示部



前回設定した時刻が点滅します。はじめて設定する場合は「PM 5:00」が点滅します。

2 設定スイッチ②で予約時刻を設定する



台所リモコン表示部



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

3 確定スイッチ③を押す



台所リモコン表示部



音声で「変更されました」とお知らせし、設定前の表示に戻ります。

お知らせ

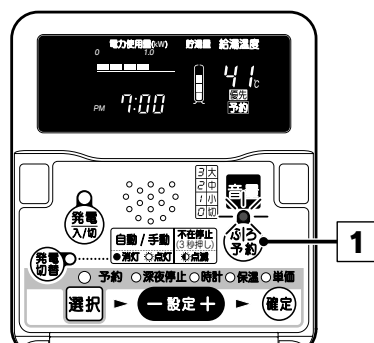
- 現在時刻が合っていることを確認して設定してください。
現在時刻が未設定の場合は設定できません。
- ふろ自動運転の予約はできますが、他の運転を予約することはできません。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。

使用方法

ふろ自動運転の予約

ふろ自動運転の予約はできますが、他の運転を予約することはできません。

台所リモコン



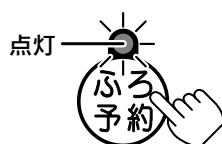
運転前の準備

- (1) 浴そうに排水栓をする。
- (2) 浴そうの循環アダプターにフィルターがついていることを確認する。
- (3) 浴そうにふたをする。
- (4) ふろ設定温度(沸き上げ温度)と水位を確認する。(浴室リモコン)
- (5) 現在時刻が正しいか確認する。

浴室リモコン表示部



ふろ予約スイッチ①を「入」にする

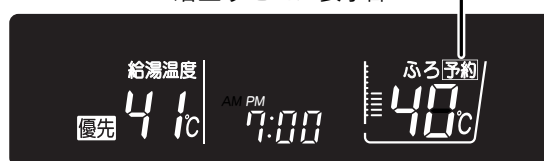


音声で「お湯はりが予約されました」とお知らせします。予約設定時刻に沸き上がるように約30分前にお湯はりを始めます。

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



ふろ自動運転の予約をやめたいときは

ふろ予約スイッチを「切」にしてください。(ふろ予約ランプ消灯)

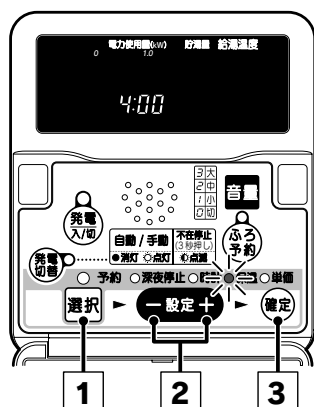


お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 現在時刻が合っていることを確認してください。また、現在時刻が未設定の場合は予約できません。音声で「予約できません。時計を合わせてください」とお知らせします。
- 予約中に停電すると予約が解除されることがあります。
デジタル表示部に「PM 0:00」が点滅している場合は、現在時刻を合わせてから予約時刻を設定し直してください。
- 残り湯がある場合、またはお湯はり中に給湯すると沸き上げ時刻が遅れることがあります。

保温時間の設定

台所リモコン



1 選択スイッチ①を押して保温ランプを点灯させる



台所リモコン表示部



点滅

前回設定した時間が点滅します。はじめて設定する場合は「4:00」が点滅します。

2 設定スイッチ②で保温時間を設定する



台所リモコン表示部



点滅

設定スイッチでご希望の時間に設定します。設定時間は0～24時間まで30分単位で変わります。

3 確定スイッチ③を押す



台所リモコン表示部



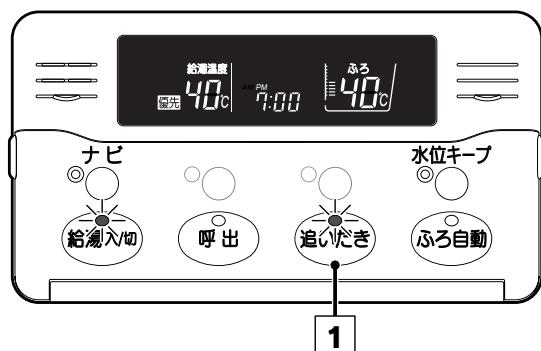
音声で「変更されました」とお知らせし、設定前の表示に戻ります。

お知らせ

- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い上げ時には4時間に設定されています。

追いだき運転

浴室リモコン



給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

追いだきスイッチ①を「入」にする



浴室リモコン表示部

音声で「追いだきをします」とお知らせします。
お湯の温度が設定温度より低い場合は、設定温度まで沸き上げ、お湯の温度が設定温度以上の場合はお湯の温度+約1℃まで沸き上げ、自動的に追いだきを終了します。



追いだきの温度調節は25ページの「風呂温度の設定」を参照してください。

追いだきをやめたいときは



追いだきスイッチを「切」にしてください。
(追いだきランプ消灯)

警告

浴そうの水が循環アダプターから約5cm以上ある状態で使用してください。

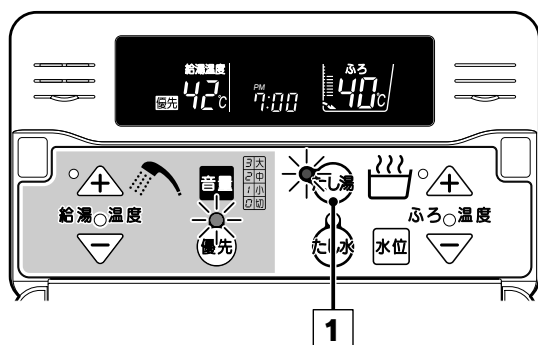
お知らせ

- 追いだき運転中に給湯すると給湯能力が低下することがあります。
- 追いだき運転中に補助熱源機燃焼表示が点灯・消灯を繰り返すことがあります。

たし湯運転

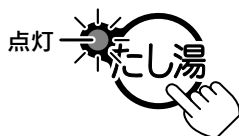
ふろ設定温度で約20Lのお湯をたし湯します。

浴室リモコン



給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

たし湯スイッチ①を「入」にする



音声で「たし湯をします」とお知らせし、約20Lのお湯をたし湯すると自動的に終了します。

浴室リモコン表示部



たし湯の温度調節は25 ページの「ふろ温度の設定」を参照してください。

たし湯をやめたいときは



たし湯スイッチを「切」にしてください。(たし湯ランプ消灯)

お知らせ

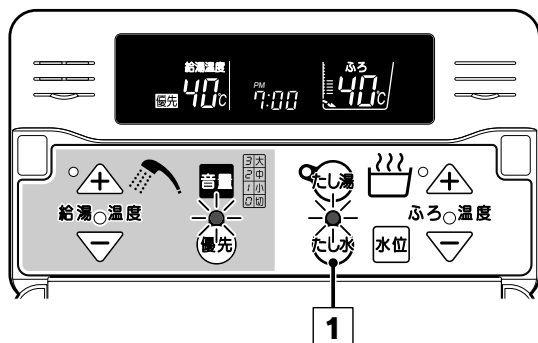
- たし湯運転中に給湯するとたし湯は一時中断します。
給湯量が少ない場合は停止しないことがあります。

使用方法

たし水運転

約10Lの水を給水して浴そうのお湯の温度を下げます。

浴室リモコン



たし水をやめたいときは



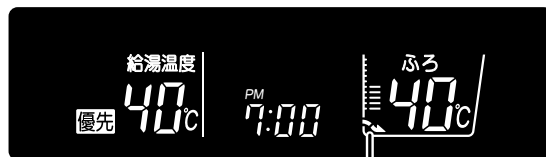
たし水スイッチを「切」にしてください。
(たし水ランプ消灯)

給湯スイッチが「切」のときは「入」にしてください。

たし水スイッチ¹を「入」にする



浴室リモコン表示部



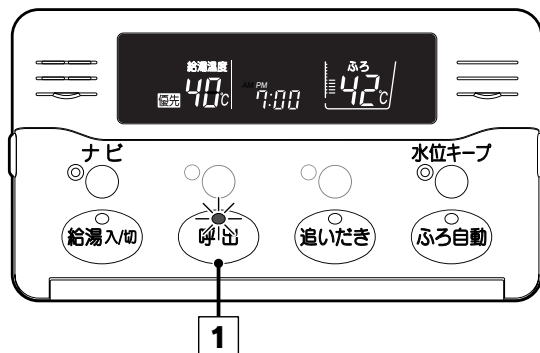
音声で「たし水をします」とお知らせし、約10Lの水を給水すると自動的に終了します。

お知らせ

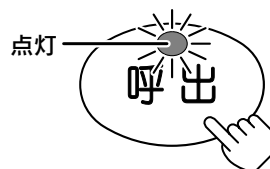
- たし水運転終了後の湯温は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。
- たし水運転中に給湯すると、たし水運転を中止します。

呼び出し……ナビリモコン

浴室リモコン



呼出スイッチ¹を押す



台所リモコンから音声で「お風呂で呼んでいます」とお知らせします。

お知らせ

- 浴室で何か必要な物があつたり、気分が悪くなって人を呼びたいときなどに、呼出スイッチで台所リモコンに知らせることができます。
- インターホンナビリモコンでは通話で行ってください。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく呼び出しできます。

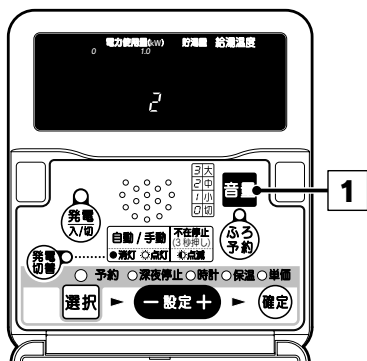
また、音声ガイドの音量設定が「0(切)」でも呼び出しできます。

33 ページ

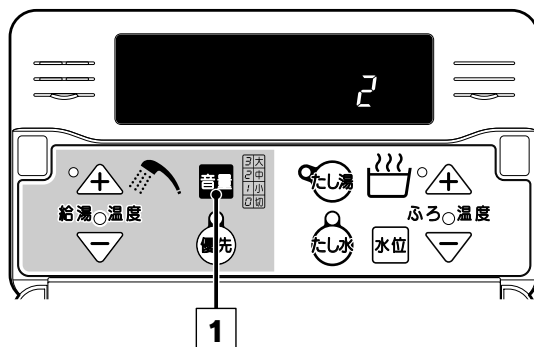
音声ガイドの音量設定

音声ガイドは音量設定することができます。

台所リモコン



浴室リモコン



1 音量スイッチ¹を押す

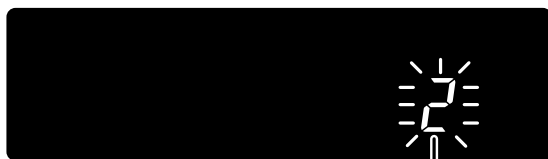


台所リモコン表示部



点滅

浴室リモコン表示部



点滅

2 もう一度音量スイッチ¹を押す

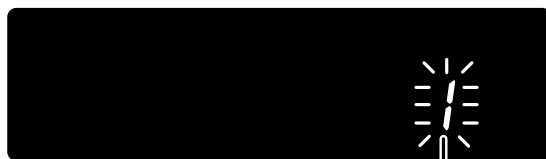


台所リモコン表示部



点滅

浴室リモコン表示部



点滅

音量スイッチを押していくと

「3→2→1→0」の順で変更できます。

(大)(中)(小)(切)

指を離すと変更した音量の音声で「変更されました」とお知らせして設定完了です。音量を「0(切)」にした場合は音声でのお知らせはありません。

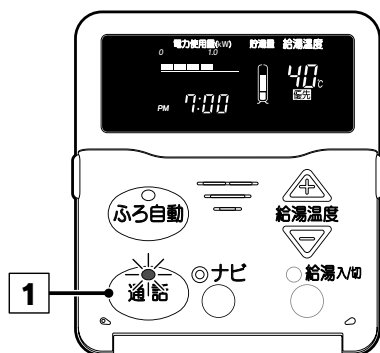
音声で「音量が変更できます」とお知らせします。

お知らせ

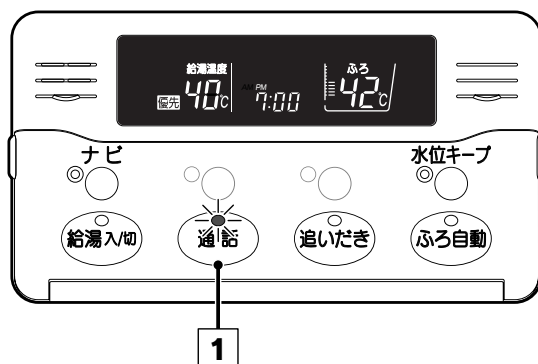
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 台所リモコン、浴室リモコンは別々に音量設定することができます。
- 音量を「0(切)」にすると音声ガイドおよび操作音(ピッ)は消えますが、ナビ表示と呼び出しの音声ガイドは消すことができません。
- お買い上げ時には「2」に設定されています。

インターホンの使いかた……インターホンナビリモコン

台所リモコン



浴室リモコン



通話スイッチ①を押す

台所リモコンと浴室リモコンの呼び出し音が鳴って通話ランプが点灯します。



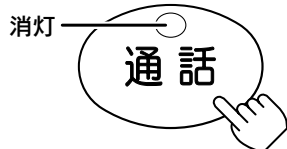
通話ができます。



話を受けている状態です。
同時に両方のリモコンから
話すことはできません。



通話スイッチを押しながら
話すと相手の話をさえぎっ
て話ができます。



通話スイッチ①を押す

通話ランプが消灯し、通話状態が終了します。

通話を始めて約30分で自動的に通話ランプが消灯して通話状態が終了します。

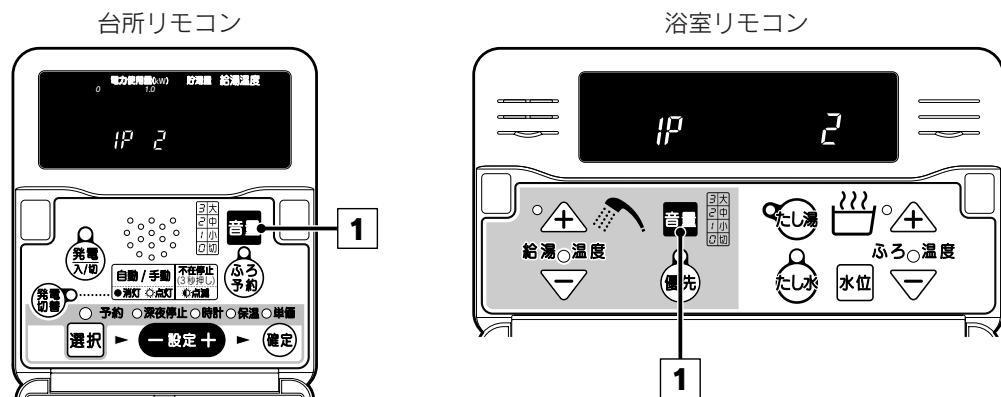
話さなかったり、音がしない状態が約1分間続いた場合でも、自動的に通話ランプが消灯して通話状態が終了します。

自動的に通話状態を終了するときは、「通話を終了します」と音声でお知らせします。

お知らせ

- 音声ガイドが流れているときは通話できません。
- 通話スイッチを押した直後は、浴室リモコンからの通話モードになっています。
- 通話スイッチを押しているリモコンの通話が優先されます。
- 話しはじめるときに、音声が一瞬途切れることがあります。
- スイッチ操作などを行ったときに、音声途切れることがあります。
- 音声途切れたり、声が小さいときはリモコンに近づいて話してください。
- 台所リモコンから話をするときはリモコンから約20cm離れて話してください。
- リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声が聞きとりにくいことがあります。
- 通話スイッチを押しながら話す場合は、押す時間が短いと通話状態が終了することがあります。
- 両方が約30秒間だましていると自動的に台所リモコンの通話ランプが点滅になり、浴室リモコンの通話ランプが点灯になります。

インターホンの音量設定……インターホンナビリモコン



1 音量スイッチ①を押し続ける (約3秒)



点滅

浴室リモコン表示部



点滅

音声で「通話の音量が変更できます」とお知らせします。

2 音量スイッチ①を押す



点滅

浴室リモコン表示部



点滅

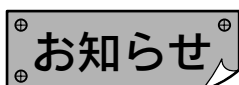
スイッチを押していくと

→ IP 3 → IP 2 → IP 1 の順で変更できます
(大) (中) (小)

指を離すと変更した音量で「変更されました」とお知らせして設定完了です。

3 インターホンの音量をセットする

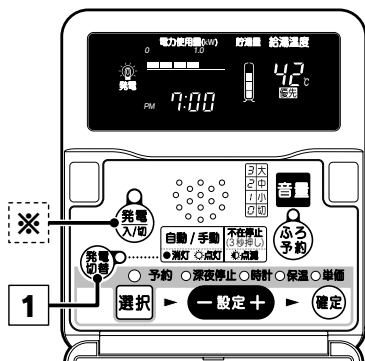
10秒経過またはふたを閉じることで設定が完了します。



- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い上げ時には音声の音量は「IP 2」に設定されています。
- 台所リモコン、浴室リモコンの音声は別々に音量設定することができます。

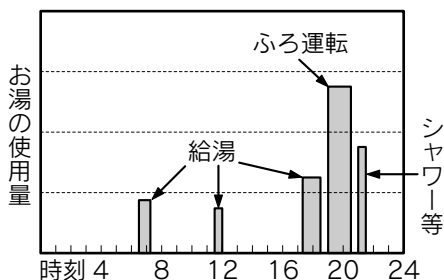
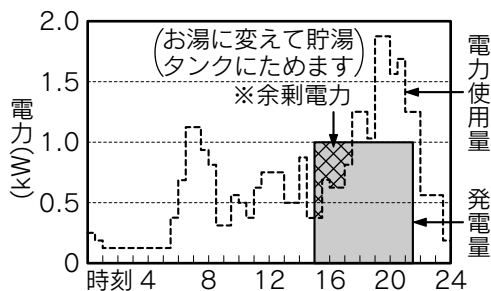
自動発電運転

台所リモコン



自動発電運転時の発電開始と発電停止について

それぞれの家庭の電気・給湯・暖房端末機の使用・ふろ運転等の使用状況に合わせて学習機能により最適な経済運転を行います。



余剰電力とは……発電して余った電力です。

発電切替スイッチ^①を押して
発電切替ランプを消灯させる



台所リモコン表示部



点滅(準備中)→点灯(発電中)

音声で「変更されました」とお知らせし、学習機能により自動的に発電と停止を行います。発電すると発電ランプと発電表示でお知らせします。

すぐに発電したいときは



発電スイッチ^②を「入」にしてください。発電ランプが点灯し、音声で「発電します」とお知らせします。貯湯タンク内のお湯が沸き上がるまで発電します。

発電を停止したいときは



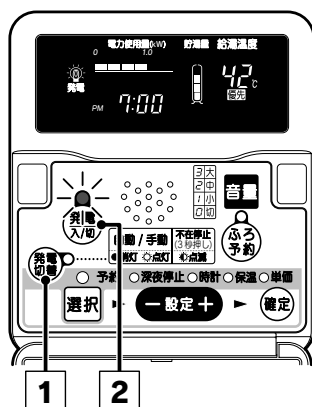
発電スイッチ^②を「切」にしてください。発電ランプが消灯し、音声で「発電を停止します」とお知らせします。約1時間発電を停止します。

お知らせ

- 通常は自動発電運転の設定にしてください。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 学習機能は目安ですので、生活習慣によっては必ずしも一致しないことがあります。停電すると学習機能の記憶は失われます。
- 長期間使用しない場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」、夜間に運転を停止したい場合は「深夜停止時間帯の設定」で発電を停止させてください。
- 停電中は発電しません。

手動発電運転 発電と停止を手動で行います。

台所リモコン



1 発電切替スイッチ[1]を押して 発電切替ランプを点灯させる



音声で「変更されました」とお知らせします。

2 発電スイッチ[2]を押す



台所リモコン表示部



点滅(準備中)→点灯(発電中)

音声で「発電します」とお知らせします。
発電ランプと発電表示が点灯します。
貯湯タンク内のお湯が沸き上がると発電を停止します。

発電をやめたいときは



発電スイッチを「切」にしてください。音声で「発電を停止します」とお知らせします。
(発電ランプ消灯)

お知らせ

- 通常は自動発電運転の設定にしてください。
- 給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 手動発電が不可能なときは、「受付できません 確認してください」または「受付できません タンクのお湯がいっぱいです」とお知らせします。

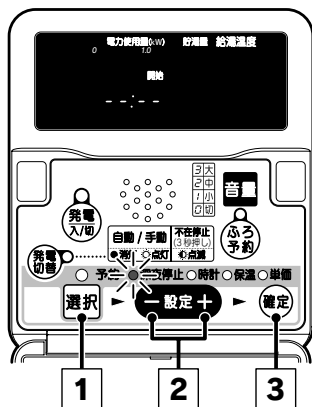
手動発電が不可能なとき

- ・貯湯タンク内が沸き上がっているとき
- ・停電しているとき
- ・警報発生時(故障表示点灯時)
- ・発電しないように設定しているとき(制御基板でエンジン無しモード・エンジン無効モード選択時)
- ・給湯回路の水張りや水抜きをしているとき
- ・試運転時や試運転が正常に終了していないとき

深夜停止時間帯の設定

ガスエンジン発電ユニットの音が気になる場合など、毎日設定した時間帯にガスエンジン発電ユニットを運転しないようにすることができます。

台所リモコン



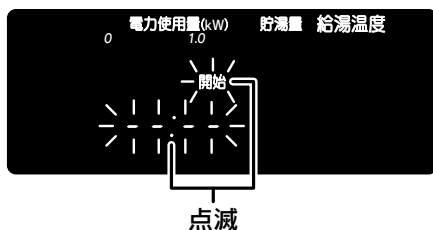
お知らせ

- 深夜停止を設定した時間帯でも手動発電は受け付けます。
- お買い上げ時には「深夜停止時間帯」は設定されていません。
- 深夜停止を設定した時間帯に暖房すると暖房静音モードになり、暖房能力をおさえます。

1 選択スイッチ[1]を押して深夜停止ランプを点灯させる



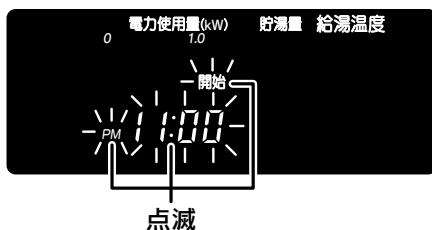
台所リモコン表示部



2 設定スイッチ[2]で開始時刻を設定する



台所リモコン表示部



前回設定した開始時刻が点滅します。はじめて設定する場合は午後 11 時 00 分が点滅します。1 回ずつ押すと 1 分、押し続けると 10 分単位で変わります。

一日中発電可能にするときは

例

開始時刻

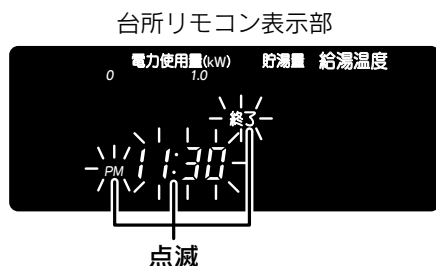


終了時刻



開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定してください。

3 確定スイッチ³を押す



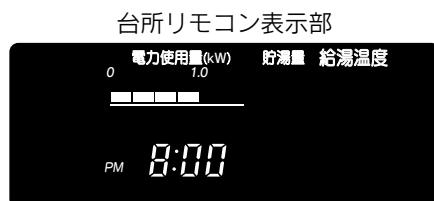
音声で「変更されました」とお知らせし、前回設定した終了時刻が点滅します。はじめて設定する場合は²で設定した時刻が点滅します。

4 設定スイッチ²で終了時刻を設定する



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

5 確定スイッチ³を押す



音声で「変更されました」とお知らせし、設定前の表示に戻ります。

ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)

旅行などで使用しない場合にご利用ください。凍結予防運転以外のすべての運転を停止します。

台所リモコン



発電切替スイッチ **1** を約 3 秒間
押す



台所リモコン表示部



全て消灯

音声で「不在停止します」とお知らせします。

お知らせ

- 暖房運転中はガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)を受け付けません。
音声で「受付できません 確認してください」とお知らせします。
- 排熱利用給湯暖房ユニットを約 48 時間使用しない場合は自動的にガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)になります。
このとき発電切替ランプが点滅します。
- ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)を設定しないとリモコンの給湯スイッチを「切」にしても発電を行います。

再び使用するときは



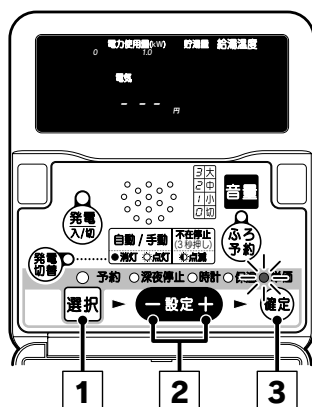
発電切替スイッチを押してください。
音声で「不在停止を解除します」とお知らせします。
給湯スイッチ、接続している暖房端末機の運転スイッチを押すことでも解除できます。
このときは音声を発声しません。

ナビ表示について

単価の設定

ナビ表示で計算を行う場合の単価を設定します。

台所リモコン

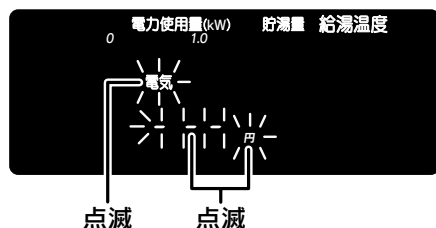


単価を設定しない場合や単価を 0 円に設定した場合は発電金額の表示と音声は出ません。
発電金額とは発電した電気料金の概算です。
また、発電金額はすべて目安です。

1 選択スイッチ①を押して単価ランプを点灯させる



台所リモコン表示部

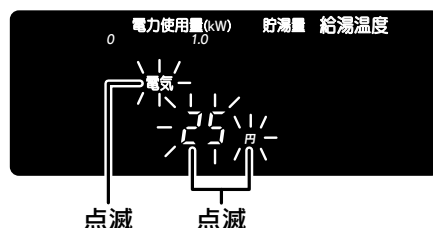


一度設定すると前回設定した金額が点滅します。

2 設定スイッチ②で単価を設定する



台所リモコン表示部



1 回ずつ押すと 1 円、押し続けると 10 円単位で変わります。

3 確定スイッチ③を押す



台所リモコン表示部



音声で「変更されました」とお知らせし、設定前の表示に戻ります。

お知らせ

●給湯スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。

ナビ表示について

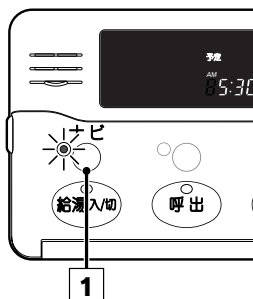
ナビ表示

お客様に上手な使い方をお知らせする機能です。
表示と音声でお知らせします。

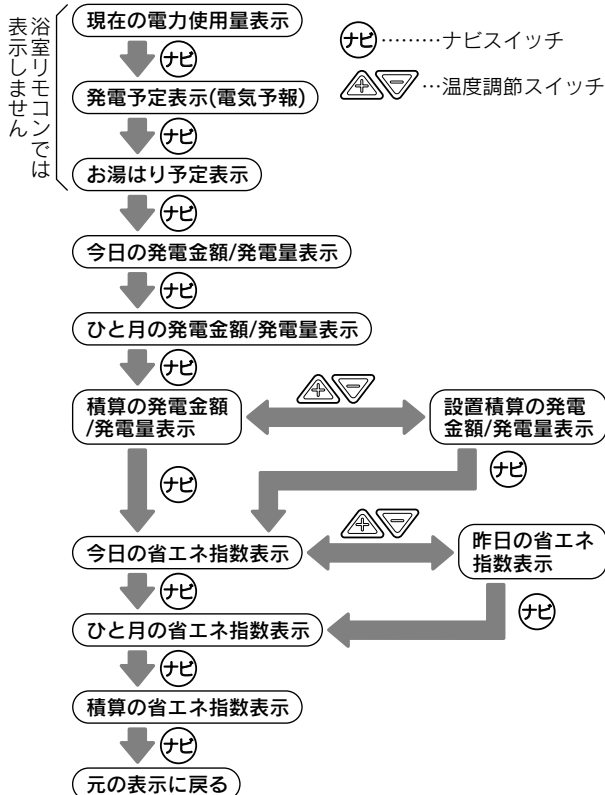
台所リモコン



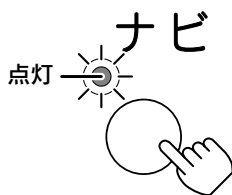
浴室リモコン



ナビ表示の順序



ナビスイッチ①を押す



ナビスイッチを押すごとに右の順序で表示します。浴室リモコンでは現在の電力使用量・発電予定時刻・お湯はり予定時刻は表示しません。

電力使用量表示

現在の電力使用量表示

「電気使用量を表示します。」

台所リモコン表示部



予定表示

発電予定表示(電気予報)

発電開始予定時刻と発電終了予定時刻の目安を交互に表示します。

「今日の主な発電時間は午前(午後)〇〇時〇〇分から午前(午後)〇〇時〇〇分です。この時間帯はお得な電気をご利用できます。」

台所リモコン表示部





お湯はり予定表示

排熱で沸かしたお湯がお湯はりできる量になる予定時刻を表示します。

「今日のお湯はりは午前(午後)〇〇時〇〇分以降が
お得です。」

台所リモコン表示部



今日の発電金額 / 発電量表示

発電金額と発電量を交互に表示します。

- 電気利用効率が高い場合は
「今日の発電金額と発電量を表示します。お得な電気を上手にご利用いただきました。」
- 電気利用効率が低い場合は
「今日の発電金額と発電量を表示します。お得な電気が余りました。電気の使用は発電中
がお得です。」

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



ひと月の発電金額 / 発電量表示

発電金額と発電量を交互に表示します。

- 電気利用効率が高い場合は
「ひと月の発電金額と発電量を表示します。お得な電気を上手にご利用いただきました。」
- 電気利用効率が低い場合は
「ひと月の発電金額と発電量を表示します。お得な電気が余りました。電気の使用は発電中
がお得です。」

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



発電金額 / 発電量表示

使
い
か
た

ナビ表示について

ナビ

積算の発電金額 / 発電量表示(リセットしてからの積算値です。)

発電金額と発電量を交互に表示します。

46 ページ

- 電気利用効率が高い場合は
「積算の発電金額と発電量を表示します。お得な電気を上手にご利用いただきました。」
- 電気利用効率が高い場合は
「積算の発電金額と発電量を表示します。お得な電気が余りました。電気の使用は発電中がお得です。」

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



発電金額 / 発電量表示

ナビ

設置積算の発電金額 / 発電量表示(設置してからの積算値です。)

発電金額と発電量を交互に表示します。

積算の発電金額 / 発電量が表示されている状態で給湯温度調節スイッチ または を押してください。

「積算の発電金額と発電量を表示します。」

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



ナビ



今日の省エネ指数表示

- 電気とお湯の利用効率が高い場合は
「今日の省エネ度を表示します。お得な電気とお湯を上手にご利用いただきました。」
- 電気の利用効率が低い場合は
「今日の省エネ度を表示します。電気の使用は発電中がお得です。さらに省エネができます。」
- お湯の利用効率が低い場合は
「今日の省エネ度を表示します。タンクにお湯がたまってから、お得なお湯をご利用ください。さらに省エネができます。」
- 昨日の記録が今までの記録を更新した場合は
「昨日は省エネの記録を更新しました。」

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



昨日の省エネ指数表示

今日の省エネ指数が表示されている状態で給湯温度調節スイッチ または を押してください。

- お湯の利用効率が高い場合は
「昨日の省エネ度を表示します。お得な電気とお湯を上手にご利用いただきました。」
- 電気の利用効率が低い場合は
「昨日の省エネ度を表示します。電気の使用は発電中がお得です。さらに省エネができます。」
- お湯の利用効率が低い場合は
「昨日の省エネ度を表示します。タンクにお湯がたまってから、お得なお湯をご利用ください。さらに省エネができます。」

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



ひと月の省エネ指数表示

「ひと月の省エネ度を表示します。」

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



ナビ表示について

ナビ

省エネ指数表示

積算の省エネ指数表示

「積算の省エネ度を表示します。」

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



ナビ表示を中止する場合は

ナビスイッチを元の表示になるまで数回押すかまたは、何も操作しない状態が約30秒間続くと元の表示に戻ります。

お知らせ

- 「今日」とは今日の午前0時から現在までのことです。
- 「昨日」とは昨日の午前0時から昨日の午後11時59分までのことです。
- 「ひと月」とは30日前から昨日までの30日間ことです。
- 「積算」とは排熱利用給湯暖房ユニット設置後または積算量をリセットした日から昨日までのことです。
- 「設置積算」とは排熱利用給湯暖房ユニット設置後から昨日までのことです。
- 「発電量」とはガスエンジン発電ユニットの発電電力量から余剰電力回収ヒーターの消費電力量を差し引いたものです。

発電量の音声は以下の条件のときだけ発声します。

$$A = (\text{ガスエンジン発電ユニットの発電電力量} - \text{余剰電力回収ヒーターの消費電力量}) \div \text{ガスエンジン発電ユニットの発電電力量} \times 100$$

- ・ $A \geq 80$ の場合「お得な電気を上手にご利用いただきました。」
- ・ $A < 70$ の場合「お得な電気が余りました。電気の使用は発電中がお得です。」

- 「省エネ指数」とはガスエンジン発電ユニットの発電量のうち家庭で使用した割合と、給湯や暖房等で使用したお湯のうち発電時に発生する排熱で賄った割合によって、算出します。
リモコンでは省エネ度と表示しています。

$$\text{省エネ指数(省エネ度)} = A \times B \times 100$$

A: ガスエンジン発電ユニットが発電した電気のうち、電気として利用した割合

$$A = (\text{ガスエンジン発電ユニットの発電電力量} - \text{余剰電力回収ヒーターの消費電力量}) \div \text{ガスエンジン発電ユニットの発電電力量}$$

B: 給湯や暖房等で使った熱のうち、ガスエンジン発電ユニットの排熱を利用した割合

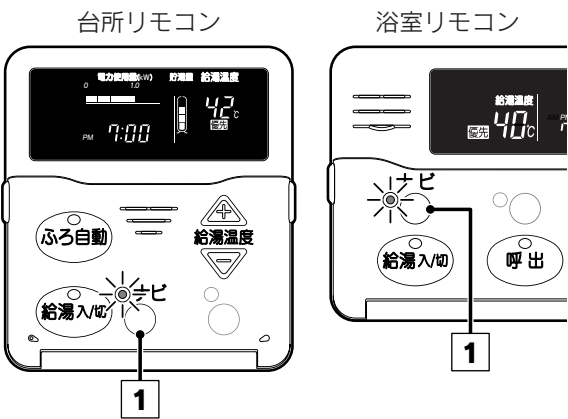
$$B = \text{ガスエンジン発電ユニットの排熱量} \div (\text{ガスエンジン発電ユニットの排熱量} + \text{補助熱源機の発生熱量})$$

省エネ指数は最高値100で、大きいほどよい数値です。

省エネ指数の音声は以下の条件のときだけ発声します。

- ・ 省エネ指数 > 80 の場合「お得な電気とお湯を上手にご利用いただきました。」
- ・ $A < 70$ の場合「電気の使用は発電中がお得です。さらに省エネができます。」
- ・ 暖房の使用がないときに $B < 60$ の場合「タンクにお湯がたまってから、お得なお湯をご利用ください。さらに省エネができます。」

積算量のリセット方法



ナビスイッチ**1**を約5秒間
(点滅が終わるまで)押す

点灯→点滅→点灯

積算の発電金額/発電量、省エネ指数の積算量の
データが消去されます。

お知らせ

●設置積算の発電金額/発電量のデータは消去できません。

音声ガイド一覧

台所リモコンでの操作

操作するスイッチ・条件など		台所リモコンから出る音声ガイド	浴室リモコンから出る音声ガイド
給湯「入」	55℃以上	♪あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
	48℃以下	♪	——
給湯「切」		♪	——
現在時刻が未設定		給湯(押す) 時計を合わせてください	——
台所リモコン 優先のとき	給湯温度 上下	55℃以上 お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます
		48℃以下 お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
浴室リモコン 優先のとき	給湯温度 上下	変更できません 優先を確認してください	——
ふろ自動	「入」	貯湯タンクにお湯がたまっているときまたは発電していないとき	お湯はりをする
		発電中で貯湯タンクにお湯がたまっていないとき	お湯はりをする もう一度スイッチを押せば、お得なお湯がご利用できます およそ午前(午後)〇〇時頃、おふろに入れます
	お湯はり・沸き上げ後	♪おふろが沸きました	——

使
い
か
た

音声ガイド一覧

操作するスイッチ・条件など			台所リモコンから出る音声ガイド	浴室リモコンから出る音声ガイド
選択 (押す)	予約時刻 の設定	確定 (押す)	変更されました	――
選択 (2回押す)	深夜停止 の設定	確定 (押す)	変更されました	――
選択 (3回押す)	現在時刻 の設定	確定 (押す)	変更されました	――
選択 (4回押す)	保温時間 の設定	確定 (押す)	変更されました	――
選択 (5回押す)	単価 の設定	確定 (押す)	変更されました	――
ふろ予約 「入」	現在時刻が設定済み		お湯はりが予約されました	――
	現在時刻が未設定		予約できません 時計を合わせてください	――
音量(押す) ↓			音量が変更できます	――
音量(つづけて押す) ↓			変更されました	――
音量(押す)	表示「0」のとき		――	――
音量(3秒押し続ける) ↓			通話の音量が変更できます	――
音量(つづけて押す)			変更されました	――
通話が自動的に終了するとき			通話を終了します	――
発電「入」	受付可能のとき		発電します	――
	発電不可のとき		受付できません 確認してください	――
			受付できません タンクのお湯がいっぱいです	――
発電「切」			発電を停止します	――
発電切替(押す)			変更されました	――
発電切替(約3秒間押す)			不在停止します	――
不在停止のとき	発電切替		不在停止を解除します	――
操作を誤ったとき			受付できません 確認してください	――
省エネ指数の記録を更新した翌日に いずれかのスイッチを押したとき			昨日は省エネの記録を更新しました	――

※の音声はインターホンナビリモコンのみ発声します。

♪はメロディーが鳴ることを表しています。ナビスイッチの音声ガイドは49ページを参照してください。

浴室リモコンでの操作

操作するスイッチ・条件など			浴室リモコンから出る音声ガイド	台所リモコンから出る音声ガイド
給湯「入」		55℃以上	♪あついお湯が出ます	あついお湯が出ます
		48℃以下	♪	——
給湯「切」			♪	——
現在時刻が未設定		給湯(押す)	時計を合わせてください	——
浴室 リモコン 優先の とき	優先「切」	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます
		48℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
	給湯温度 上下	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます
		48℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
台所 リモコン 優先の とき	優先「入」	55℃以上	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます	お湯の温度が変更されました あついお湯が出ます
		48℃以下	お湯の温度が変更されました	お湯の温度が変更されました
	給湯温度 上下		変更できません 優先を確認してください	——
ふろ自動	「入」	貯湯タンクにお湯がたまっているときまたは発電していないとき	お湯はりをします	——
		発電中で貯湯タンクにお湯がたまっていないとき	お湯はりをします もう一度スイッチを押せば、お得なお湯がご利用できます およそ午前(午後)〇〇時頃、おふろに入れます	——
	お湯はり・沸き上げ後		——	♪おふろが沸きました
ふろ温度 上下			変更されました	——
水位キープ「切」			水位キープを解除します	——
水位キープ「入」			水位キープを開始します	——
追いだき			追いだきをします	——
呼出			——	♪おふろで呼んでいます(2回)
水位			変更されました	——
たし湯			たし湯をします	——
たし水			たし水をします	——
音量(押す) ↓			音量が変更できます	——
音量(つづけて押す) ↓			変更されました	——
音量(押す)	表示「0」のとき		——	——
音量(3秒間押し続ける) ↓			通話の音量が変更できます	——
音量(つづけて押す)			変更されました	——
通話が自動的に終了するとき			通話を終了します	——
操作を誤ったとき			受付できません 確認してください	——

※1の音声はナビリモコンのみ発声します。※2の音声はインターホンナビリモコンのみ発声します。
♪はメロディーが鳴ることを表しています。ナビスイッチの音声ガイドは49ページを参照してください。

ナビスイッチでの操作

項 目	音 声 ガ イ ド	
電力使用量表示	電気使用量を表示します。	
予定表示	今日の主な発電時間は午前(午後)〇〇時〇〇分から午前(午後)〇〇時〇〇分です。 この時間帯はお得な電気をご利用できます。	
	今日のお湯はりは午前(午後)〇〇時〇〇分以降がお得です。	
発電金額/ 発電量表示	今日の発電金額と発電量を表示します ※今日の発電量を表示します	<電気利用効率が高いとき> お得な電気を上手にご利用いただきました。
	ひと月の発電金額と発電量を表示します ※ひと月の発電量を表示します	
	積算の発電金額と発電量を表示します ※積算の発電量を表示します	<電気利用効率が低いとき> お得な電気が余りました。電気の使用は発電中がお得です。
省エネ指数 表示	今日の省エネ度を表示します	<昨日の省エネ指数が記録を更新したとき> 昨日は省エネの記録を更新しました。
		<電気・お湯の利用効率が高いとき> お得な電気とお湯を上手にご利用いただきました。
	昨日の省エネ度を表示します	<お湯の利用効率が低いとき> 電気の使用は発電中がお得です。さらに省エネができます。
		<お湯の利用効率が低いとき> タンクにお湯がたまってから、お得なお湯をご利用ください。 さらに省エネができます。
	ひと月の省エネ度を表示します	
	積算の省エネ度を表示します	

※印の音声ガイドは単価の入力が未設定または0円に設定している場合です。
音声ガイドは操作したリモコンから発声します。

冬期の凍結による破損防止について

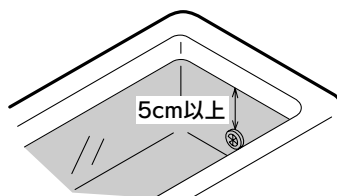
凍結予防

- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、排熱利用給湯暖房ユニットや配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

1 凍結予防装置による方法(自動)

浴そうの水位の確認

必ず循環アダプターより約5cm以上給水してください。浴そう内の水を循環させ、排熱利用給湯暖房ユニット内のふろ経路と追いだき配管の凍結を予防します。



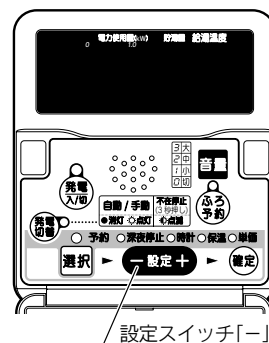
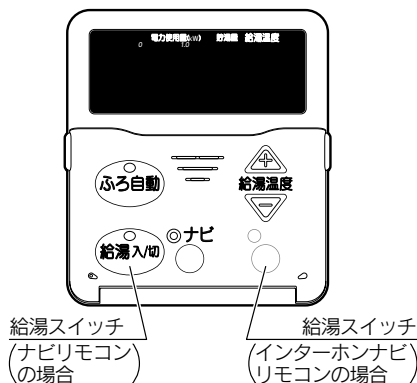
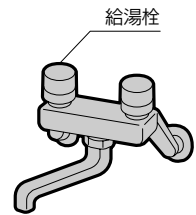
- 停電した場合や専用ブレーカーを「切」にすると「1 凍結予防装置による方法」では凍結予防装置が作動しないので効果がありません。
「2 排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」の凍結予防方法を行ってください。
- 凍結した場合はそのままでは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
再使用時はすべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開いて水が出ることや、排熱利用給湯暖房ユニットや配管から水漏れがないことを確認してください。

2 排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法

- 長期間にわたって排熱利用給湯暖房ユニットを使用しない場合は水抜きを行ってください。
- 再使用時は給湯回路から水張りを行ってください。  53ページ
- 水抜きは配管カバーをはずして行い、終了後は取り付けてください。  61ページ

排熱利用給湯暖房ユニットの水抜き

- 暖房回路に不凍液を使用している場合は(7)の作業は不要です。
不凍液を使用しているかどうかは不凍液注意シールで確認してください。
 - 水抜きをする場合は以下の手順で行ってください。
- (1)リモコンの給湯スイッチを「切」にします。
 - (2)すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を閉じます。
 - (3)ガス栓①、給水元栓②、ガスエンジン発電ユニットのガス栓を閉じます。
 - (4)すべての給湯栓(シャワーなどを含む)・排水栓③を開きます。
このとき台所リモコンのデジタル表示部に「25.0」が点滅します。
 - (5)給水水抜き栓④・給湯水抜き栓⑤・循環ポンプ水抜き栓⑥をはずします。
 - (6)台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「-」を約3秒間押します。
デジタル表示部に「0.0」が点滅します。
(1)～(5)の操作を行わずに設定スイッチの「-」を押しても「0.0」は出ません。
この操作を行うと水抜きが終了するまで他のスイッチは受け付けません。
 - (7)暖房「戻り」水抜き栓⑦・暖房「往き」水抜き栓⑧をはずします。
暖房回路に不凍液を使用している場合ははずさないでください。
 - (8)追いだき「戻り」水抜き栓⑨・追いだき「往き」水抜き栓⑩・ふろポンプ水抜き栓⑪をはずします。
 - (9)排水栓③と水抜き栓④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪から水が出なくなる、または約1時間後に「0.0」の点滅が「25.0」の点滅に変わると水抜きは完了です。
 - (10)すべての水抜き栓を元通りにしっかりと取り付け、給湯栓(シャワーなどを含む)と排水栓を閉じます。
 - (11)分電盤の専用ブレーカーを「切」にします。

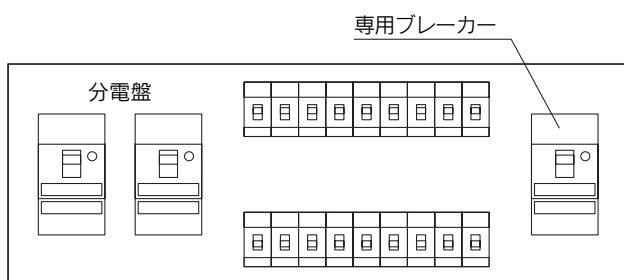


警告

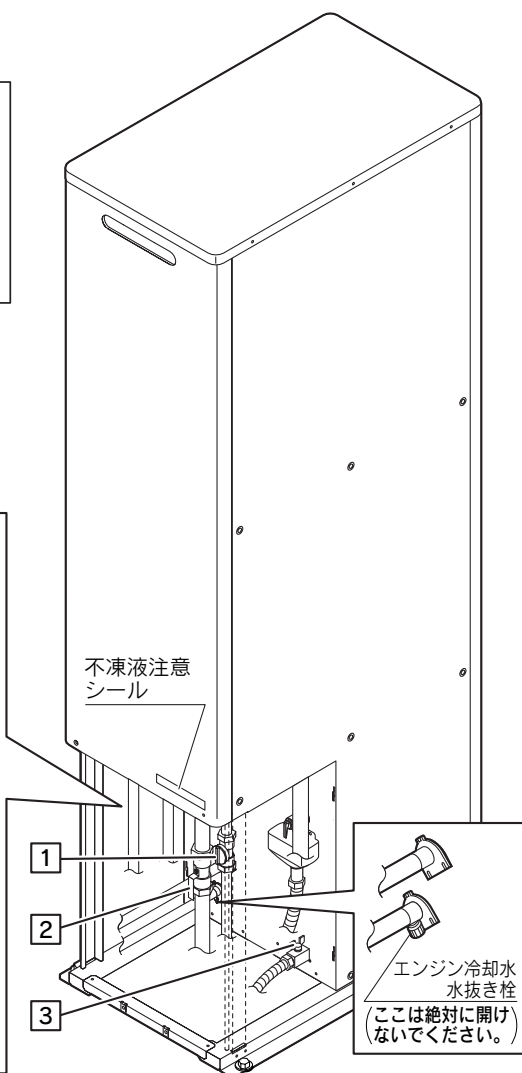
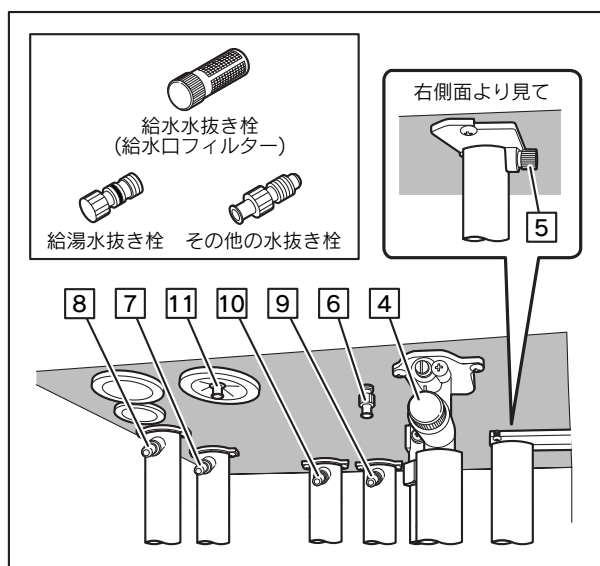
水抜き中に熱湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。
注意して作業してください。

お知らせ

- 給水元栓を閉じないと水抜きはできません。
台所リモコンの設定スイッチの「ー」を押すと音声で「受け付けません 確認してください」とお知らせします。



※専用ブレーカーは各家庭によって設置状態が異なります。

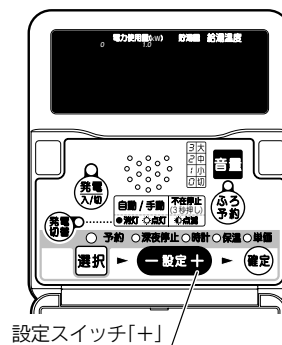
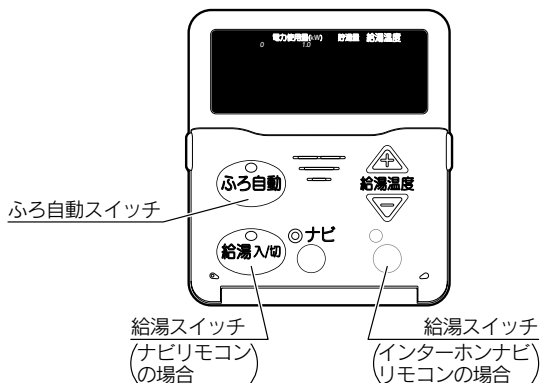


再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)

- 水張り時には浴そうの循環アダプターから水が出ますので、浴そうの排水栓をはずしてください。
- 排水栓・水抜き栓の位置は「排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」のイラストを参照してください。
- 水張り時間は約 10 分間かかります。

52 ページ

- (1)配管カバーをはずして排水栓 [3] とすべての水抜き栓 [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10] [11] とすべての給湯栓(シャワーなどを含む)が閉じていることを確認してください。
- (2)分電盤の専用ブレーカーを「入」にします。
- (3)リモコンのデジタル表示部に「25.0」が点滅します。
- (4)給水元栓 [2] を開きます。
- (5)台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「+」を約 3 秒間押します。
給湯スイッチが「切」でないと受け付けません。
デジタル表示部に「0.0P」が点滅します。給水元栓が充分開いていないと「0.0P」は点滅しません。
この操作を行うと水張りが終了するまで他のスイッチは受け付けません。
- (6)「0.0P」が消灯し「ピーピーピー」と音がすると終了です。
- (7)給湯栓を開き、水が出てくることを確認した後、給湯栓を閉じます。
- (8)ガス栓 [1] とガスエンジン発電ユニットのガス栓を開きます。
- (9)給湯スイッチを「入」にします。
- (10)ふろ自動スイッチを「入」にします。
- (11)循環アダプターから水が出てから、ふろ自動スイッチを「切」にしてふろ自動運転を中止します。
- (12)暖房端末機の運転スイッチを「入」にします。
暖房回路に不凍液を使用している場合は不要です。



災害時などにお湯を取り出す方法

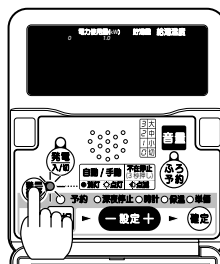
●断水時や地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

警告

取水中に熱湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。

1 発電切替スイッチを約3秒間押す

発電切替ランプが点滅します。
停電時はこの操作を行う必要はありません。



2 専用ブレーカーを「切」にする

3 配管カバーをはずす

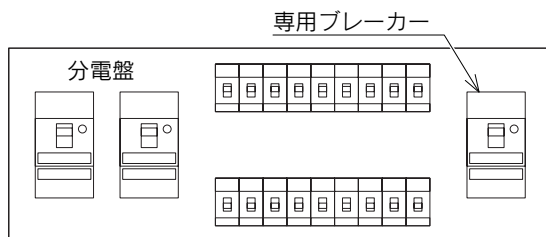
61ページ

4 給水元栓を閉じる

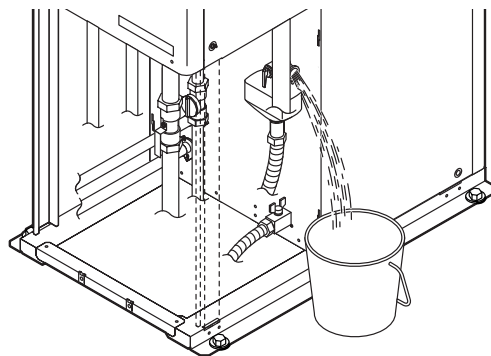
5 逃し弁の排水口を右に向ける

6 逃し弁のレバーを上げる

出てきたお湯(水)をバケツなどで受け、生活用水として使用してください。
初めに湯アカなどが出ることがありますので、少し捨ててから使用してください。



※専用ブレーカーは各家庭によって設置状態が異なります。



※配管カバーをはずしたイラストです。

取水が終わったら逃し弁のレバーを下げてください。

再度使用するときは

- 「冬の凍結による破損防止について」の「2 排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」の「再使用方法(排熱利用給湯暖房ユニットの水張り)」に従って水張りを行ってください。その後「使用方法」に従って使用してください。

19～39ページ

53ページ

故障・異常の見分けかたと処置方法

故障表示一覧表

- 台所リモコンと浴室リモコンのデジタル表示部に故障・異常箇所を表示します。

故障表示が表示されたときは、下記の処置を行い、リセットしてください。

リセットしても直らない場合は「異常時の処置方法」に従ってください。

60 ページ

- リセット(警報解除)の方法…リモコンの給湯スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

表示によってはリセットしても直らない場合があります。

直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

表 示	説 明	確 認・処 置
—	リモコンの表示部に何も表示しない	分電盤の専用ブレーカーを「切」にして3秒後に「入」にします。10 ページ
002	残り湯検知異常	
011	補助熱源機連続燃焼時間超過(給湯/お湯はり時)	リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
012	ふろ追いだき時間超過	
019	電流センサー(CT)未設定	試運転が終了していません。販売店または担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
032	ふろ排水栓抜け検知	浴そうにふろ排水栓がしてありますか。お湯はり中に断水しませんでしたか。
043	暖房水濁水検知(自動試運転時)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
049	エンジン冷却水濃度低下検知	
100	補助熱源機燃焼異常(排気閉塞警告)	ガス栓は充分開いていますか。マイコンメータがガスを遮断していないか確認してください。リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
111	点火不良(給湯/お湯はり時)	
112	点火不良(追いだき時)	
113	点火不良(暖房時)	
121	立消え安全装置作動(給湯/お湯はり時)	
122	立消え安全装置作動(追いだき時)	
123	立消え安全装置作動(暖房時)	
140	系統接続端子台温度ヒューズ切れ	リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
141	残火安全装置作動(給湯/お湯はり時)	
142	残火安全装置作動(追いだき時)	
143	残火安全装置作動(暖房時)	
149	発電ユニット接続端子台温度ヒューズ切れ	
159	排熱回路温度異常	
161	給湯温度高温異常	
169	循環回路温度異常	
173	暖房回路漏水検知(少量)	
179	排熱回路漏水検知(少量)	
193	E-CON 地絡	
209	余剰電力回収ヒーター用過熱防止装置作動(U相・V相または両方)	

表 示	説 明	確 認・処 置
2 52	ふろ水流スイッチ異常 (お湯はり/追いだき時)	循環アダプターのフィルターにゴミが詰まっていないか確認してください。 また浴そうに排水栓がしてあるか確認してください。  63ページ
2 60	断水検知(圧力スイッチ作動)	給水元栓が閉まっていませんか。 断水していませんか。 断水が解除されたら水張りを行ってください。  53ページ
3 00	外気温サーミスタ異常	リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
3 09	排熱サーミスタ異常	
3 10	BU 入サーミスタ異常	
3 11	給水サーミスタ異常	
3 12	ふろサーミスタ異常	
3 19	貯湯 1 サーミスタ異常	
3 20	BU 出サーミスタ異常	
3 21	給湯サーミスタ異常	
3 23	暖房サーミスタ異常	
3 29	貯湯 2 サーミスタ異常	
3 30	循環サーミスタ異常	
3 39	貯湯 3 サーミスタ異常	
3 49	貯湯 4 サーミスタ異常	
4 11	給水水量センサー異常	
4 12	お湯はり水量センサー異常	
4 32	水位センサー異常	
4 33	暖房水位電極異常	
4 39	排熱水位電極異常	
5 43	暖房回路漏水検知(多量)	
5 49	排熱回路漏水検知(多量)	
5 62	お湯はり異常	
5 93	暖房高温熱交換器漏水検知	
5 99	貯湯熱交換器漏水検知	
6 11	送風機異常(給湯/お湯はり時)	
6 12	送風機異常(追いだき時)	
6 13	送風機異常(暖房時)	
6 32	ふろ循環異常	循環アダプターのフィルターにゴミが詰まっていないか確認してください。 また浴そうに排水栓がしてあるか確認してください。  63ページ
6 51	湯比例弁異常	リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
6 59	循環比例弁異常	
6 60	循環経路異常	
6 61	水比例弁異常	
7 00	制御基板 1 異常	
7 09	余剰電力回収ヒーター制御、 電源周波数異常	
7 10	制御基板 1 異常	
7 21	疑似炎検知(給湯/お湯はり時)	

故障・異常の見分けかたと処置方法

表 示	説 明	確 認・処 置
722	疑似炎検知(追いだき時)	リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
723	疑似炎検知(暖房時)	
730	制御基板 1 設定不良	
740	台所リモコン通信異常	分電盤の専用ブレーカーを「切」にして 3 秒後に「入」にします。
750	浴室リモコン通信異常	
760	リモコン通信異常	
763	インテリジェント通信異常 (暖房端末機通信異常 90 秒連続)	リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
769	ガスエンジン発電ユニット通信異常 (ガスエンジン発電ユニット通信異常 90 秒連続)	
909	排熱ポンプ異常	
949	エンジン冷却水濁水検知	リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
959	ガスエンジン発電ユニット 試運転異常	
969	空気抜き異常	
990	補助熱源機燃焼異常 (排気閉塞警報)	担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
E09	電流センサー(CT)取り付け異常	リセットしても直らない場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
E49	電流センサー(CT)断線(U 相)	
E59	電流センサー(CT)断線(V 相)	
E69	余剰電力回収ヒーター異常	
E79	ガスエンジン発電ユニット 逆潮解列異常	
E89	電流センサー(CT)断線 (U 相・V 相)	
末尾が E	ガスエンジン発電ユニット故障	

10ページ

運転動作モード一覧表

●台所リモコンと浴室リモコンのデジタル表示部に運転動作を示す表示が出ることがあります。

表 示	説 明	確 認・処 置
00d	給湯回路水抜き中	運転動作を表示しています。 異常ではありません。
00F	暖房回路水張り終了	
00H	暖房試運転・システム試運転中	
00P	給湯回路水張り中	
LLL	ふろ試運転(ガス無し)終了	

サービスを依頼される前に

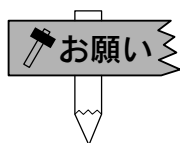
次のような場合は故障ではありません。サービスを依頼される前にもう一度確認してください。

現 象		説 明
初めて点火するとき、なかなか点火しない		ガス配管内に空気が入っているためです。 給湯栓を閉じ、再度開く操作を繰り返してください。
給湯栓を開いたがお湯が出ない		少流量では点火しません。給湯栓をもっと開いて使用してください。
低温のお湯が出ない		夏場など水温が高い場合には、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開き湯量を増やして水と混ぜて使用してください。
使用中に停電になり、再通電後もお湯が出ない		一度電源が切れると、再通電後は自動的に点火しません。 「使用方法」に従ってやり直してください。
給湯栓を開いてもすぐにお湯にならない		給湯栓までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
給湯量・お湯はり量が少ない		30 日間以上ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)して使用しなかった後に給湯やお湯はりを行うと給湯量・お湯はり量が少なくなることがあります。
お湯が白く見える		水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
運転を停止してもしばらくの間、排熱利用給湯暖房ユニットでファンの音がする		燃焼室内の排気ガスを排出するためです。約 5 秒間で停止します。
給湯を止めた後しばらくポンプの音がする		再出湯の待機をしています。約 5 分間で止まります。
運転時に点火・消火を繰り返すことがある		補助熱源機がお湯の温度を調節するために点火・消火を繰り返します。 異常ではありません。
お湯はりするとき、循環アダプターから泡が出る		排熱利用給湯暖房ユニット内で水中の空気が分離するためです。
断続的にたし湯運転する		たし湯中に給湯するとたし湯が中断されるためです。
ふろ自動運転の途中でお湯はりが停止する		浴そうの残り湯を確認しているためです。異常ではありません。
浴そうやタオルなどが青く見える		水中に溶けた微量の銅イオンが石けんや湯あかに含まれた脂肪酸と反応して不溶性の青い生成物を生じ、青く見えることがあります。健康上は支障はありませんが、浴そうを中性洗剤で洗ってすすぎをよく行うことで発色しにくくなります。
湯温・湯量が不安定なことがある		他の給湯栓を同時に使用すると湯温が熱くなったり、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
逃し弁から水が出る		熱交換器内の圧力が上がり過ぎないように上昇した圧力を逃がすためです。 運転中はボタボタと出ることがあります。
時刻表示が「PM 0 : 00」で点滅している		停電等で電源が切れた後は時刻表示は記憶していませんので再設定してください。ただし約 5 分間は記憶しています。現在時刻を設定しないと自動発電運転やふろ自動運転の予約等ができません。
排気部から湯気が出る		排気ガスが水蒸気を多く含んでいて、冷たい外気に触れて白く見えるためです。
リモコンの表面が熱く感じる		使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じる場合があります。リモコンの給湯スイッチを「切」にしても電子回路が作動していますので発熱があります。
燃焼していないのにふろポンプが作動する		ふろ自動運転の保温中にお湯をかくはんするために、ふろポンプが回ります。
運転していないのにポンプまたは補助熱源機が作動する	寒いとき	ポンプの凍結を予防するために、外気温が約 3℃になると凍結予防装置により、ポンプと補助熱源機が運転・停止を繰り返します。
	寒くないとき	ポンプの固着を防止するために、自動的にポンプを 48 時間に 1 回、約 1 秒間回しているためです。また給湯終了後は約 5 分間ポンプが動きます。
使用していないのに排熱利用給湯暖房ユニットや配管から伝わり音がする		ポンプの固着を防止するために、自動的にポンプを回しているためです。
発電しない		現在時刻を設定していないと自動発電しません。 設定してください。
		手動発電運転を選択すると発電スイッチを押さないと発電できません。 通常は自動発電運転の設定にしてください。
		電気やお湯の使用量が少ないと学習機能により自動発電しないことがあります。 発電スイッチを「入」にすると発電します。 リモコンの貯湯量表示がすべて点灯しているときは発電しないことがあります。 学習機能によって予測した発電時間以外の時間に電気やお湯等を大量に使うと発電予定時間に自動発電しないことがあります。

故障かな？

安全装置

安全装置	はたらき
立消え安全装置	●使用中にバーナーの炎が消えた場合に自動的にガスを停止します。
残火安全装置	●空だきなどにより熱交換器内の温度が異常に上昇した場合に自動的にガスを停止します。
空だき防止装置	●給湯回路に一定量の水が流れないと補助熱源機が燃焼しません。 ふろの循環を検知しないと追いだきしません。 ●暖房水タンクに一定量の水または不凍液が入っていないと暖房運転しません。 ●ガスエンジン冷却水タンクに一定量の水が入っていないと発電しません。
停電安全装置	●使用中に停電した場合に自動的にガスを停止します。 再通電後は自動的に点火しません。
余剰電力回収ヒーター用過熱防止装置	●余剰電力回収ヒーターの温度が異常に上昇した場合に運転を停止します。
補助熱源機過熱防止装置 (温度ヒューズ)	●排熱利用給湯暖房ユニット内の温度が異常に上昇した場合に自動的にガスを停止します。
過電流防止装置	●万一内部や送風機の配線のショートなどで過電流が流れたときにヒューズが切れて停止します。
過圧防止安全装置	●熱交換器や貯湯タンク内の圧力が異常に上昇した場合に圧力を逃がします。
ファン回転検出装置	●送風機の回転数が一定数以外の場合に補助熱源機を停止します。
漏電安全装置	●万一漏電したときに作動して自動的に運転を停止します。
沸騰防止装置	●高温のお湯が排熱利用給湯暖房ユニットに給水された場合に補助熱源機を燃焼しないようにします。
負圧防止安全装置	●断水したときに自動的に運転を停止します。 ●貯湯タンクが負圧になることを防ぎます。
高温出湯回避装置	●給湯温度が設定温度より高温の場合に給湯を停止します。 ●停電中または運転していないときに高温で給湯しないように水を混ぜます。
凍結予防装置	●ポンプが排熱利用給湯暖房ユニット内の水を循環させ、給湯・ふろ・暖房回路および配管の凍結を予防します。



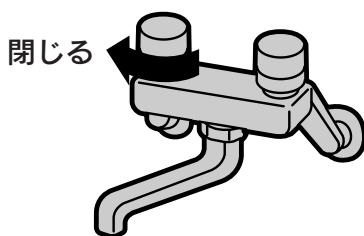
運転中に誤動作したときは…

- 万一運転中に雷、自動車無線などで誤動作したり、動かなくなったりしたときは分電盤の専用ブレーカーを一度「切」にしてから再度「入」にします。再度運転して異常がある場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

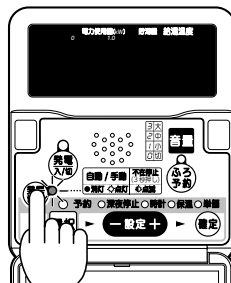
異常時の処置方法 この処置を行った場合は使用できません。

1 暖房端末機の運転スイッチを「切」にする

2 給湯栓を閉じる

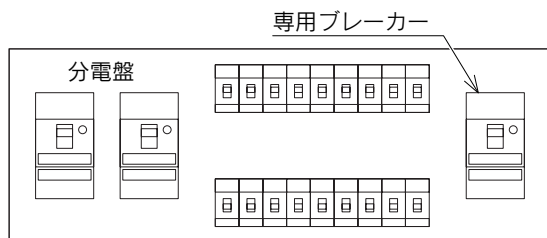


3 発電切替スイッチを約3秒間押す 〔ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)〕



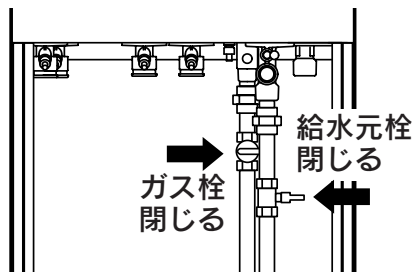
故障表示が出ていないか確認してから台所リモコンの発電切替スイッチを約3秒間押してください。発電切替ランプが点滅します。

4 専用ブレーカーを「切」にする



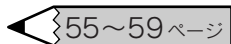
※専用ブレーカーは各家庭によって設置状態が異なります。

5 ガス栓、給水元栓を閉じる



6 故障・異常を処置する

故障・異常の見分け方と処置方法に従って処置してください。

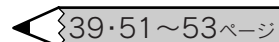


7 担当のメンテナンス会社に連絡する

処置を行っても直らない場合は使用しないでください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は「ガス発電・給湯暖房機の全停止(不在停止)」または冬の凍結による破損防止についての「2 排熱利用給湯暖房ユニット内の水を抜く方法」に従ってください。



故障かな？

長く使っていたために

日常の点検・手入れのしかた

点検・手入れの際のご注意

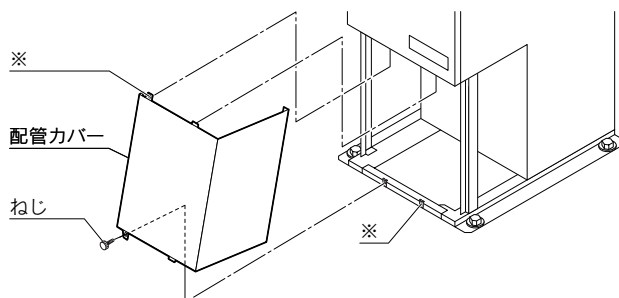
注意

- 点検・手入れの際は金属部に充分注意してください。ケガの原因になることがあります。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

点検・手入れ前の準備

配管カバーのはずしかた

配管カバーのねじ(1個)をはずしてください。
点検・手入れが終わったら元通りに取り付け
てください。
配管カバーは別売です。

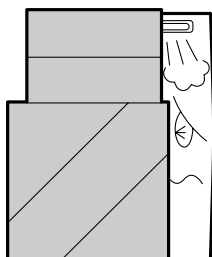


イラストは配管カバーを右側に取り付ける場合です。
※印は左側に取り付ける場合のねじ固定位置です。

点検

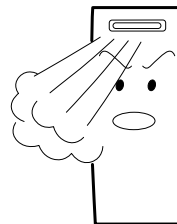
(日常)

排気部およびその周囲



排気部がふさがれていないことを確認してくだ
さい。

周囲の可燃物



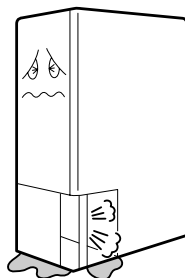
排熱利用給湯暖房ユニットおよび排気部の周囲
に可燃物や、危険物がないことを確認してくだ
さい。

(日常)

ガス漏れ・水漏れ

⚠ 警告

排熱利用給湯暖房ユニット、配管などからガス漏れしていないことや配管などから水漏れしていないことを確認してください。ガスが漏れていれば異臭がします。



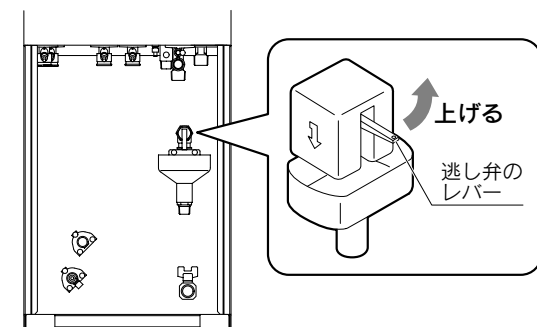
(1年に2～3回以上)

逃し弁の確認

⚠ 注意

逃し弁から熱いお湯が出る場合がありますので手などにかからないように注意してください。

- (1)配管カバーをはずします。
- (2)逃し弁のレバーをゆっくり上げて、逃し弁から水が出てくるか確認してください。
- (3)逃し弁のレバーを元の位置に戻します。



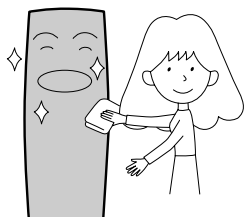
配管の点検

配管の水漏れ、保温材の破損がないか確認してください。

手入れ

(適時に)

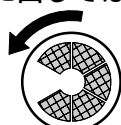
ホコリ



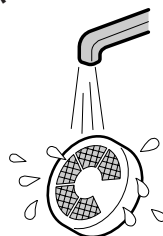
排熱利用給湯暖房ユニット外面にホコリがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけて拭き取ってください。

フィルターの掃除

左に回してはまず



循環アダプター

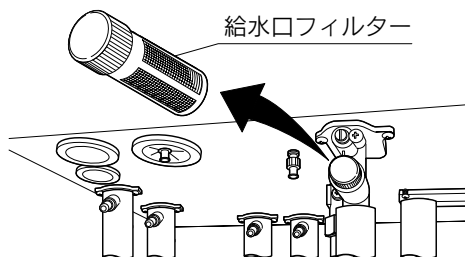


浴そうを掃除するときは、必ず循環アダプターのフィルターもはずして歯ブラシ等でフィルターの汚れを掃除してください。ご使用時には必ず取り付けてください。

給水口フィルターの掃除

- (1)給湯スイッチを「切」にします。
- (2)配管カバーをはずします。
- (3)給水元栓を閉じます。
- (4)給水水抜き栓をはずして給水口フィルターの掃除をしてください。
- (5)元通りに給水水抜き栓を取り付け、給水元栓を開き、配管カバーを取り付けます。

61ページ



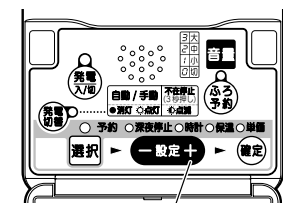
※底から見たイラストです。

(1年に2～3回程度)

排熱利用給湯暖房ユニットのお手入れ(給湯回路の洗浄)

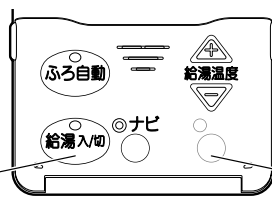
貯湯量表示が点灯していないときに行ってください。

- (1)浴そうの排水栓をはずします。
- (2)循環アダプターのフィルターをはずします。
- (3)台所リモコンの給湯スイッチを「切」にします。
- (4)台所リモコンのふたを開き、設定スイッチの「+」を約3秒間押します。
給湯スイッチが「切」でないと受け付けません。デジタル表示部に「0.0P」が点滅します。
この操作を行うと水張りが終了するまで他のスイッチは受け付けません。
- (5)「0.0P」が消灯し「ピーピーピー」と音がすると終了です。フィルターを元通りに取り付けます。



設定スイッチ「+」

給湯スイッチ
(ナビリモコン)
の場合



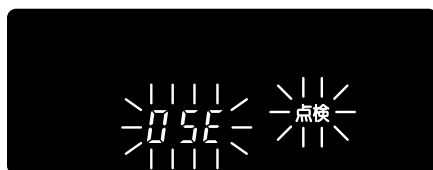
給湯スイッチ
(インターホンナビ)
リモコンの場合

点検表示について

ガスエンジン発電ユニットは、オイル交換などの定期点検が必要です。
点検が必要な時期を超過すると発電運転を停止します。

- 点検表示が点灯…もうすぐ点検時期です。担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
- 点検表示が点滅…点検時期になりました。
- 点検表示が3回点滅(「05E」点灯)…点検時期を超過しました。ガスエンジン発電ユニットを停止します。

台所リモコン表示部



浴室リモコン表示部



保守契約について

安心してより長くご使用していただくために定期的に点検整備を行う保守契約をおすすめします。
排熱利用給湯暖房ユニットのリモコンに「点検」が表示されたときは担当のメンテナンス会社にご連絡ください。専門のサービスマンがお伺いしてメンテナンスを実施しますので手間がかからず安心してご利用できます。
保守契約の詳細については販売店またはもよりのガス会社にお問い合わせください。

部品交換について

- 故障したままで使用しないでください。爆発・ガス漏れ・不完全燃焼の原因になります。
- 故障して修理や部品交換が必要なときは、担当のメンテナンス会社に依頼してください。

項 目		記 入 内 容
名 称	品 名	GCT-C03ARS-AWQ(排熱利用給湯暖房ユニット)
	型 式 名	ECG-151
基 本 仕 様	設 置 方 式	屋外式据置形
	給 排 気 方 式	強制排気式
	外 形 寸 法	高さ1,850mm 幅700mm 奥行き400mm
	重 量	100kg(満水時約255kg)
	接 続	ガス(都市ガス13A)
		給 水
		給 湯
		ふ ろ (往 ・ 戻)
		暖 房 (往 ・ 戻)
		排 熱 (高 ・ 低)
		排 水
		オ ー バ ー フ ロ ー
		電 源
		信 号 線
	消費電力	最 大 時
		排 熱 回 収 運 転 時
		凍 結 予 防 運 転 最 大 時
運 転 制 御 仕 様	点 火 方 式	
	給 湯 ・ お 湯 は り	能 力
		給 湯 時 最 大 出 湯 量
		最 低 作 動 流 量
		最 低 作 動 水 圧
		減 圧 弁 圧 力
	追 い だ き	能 力
		方 式
	暖 房	能 力
安 全 装 置		立消え安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、停電安全装置 余剰電力回収ヒーター用過熱防止装置、補助熱源機過熱防止装置(温度ヒューズ) 過電流防止装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、漏電安全装置 沸騰防止装置、負圧防止安全装置、高温出湯回避装置、凍結予防装置
付 属 部 品		取扱説明書、工事説明書、保証書、電流センサー(2個) コネクタ(コード)一式、アース用丸形端子、お問い合わせ先一覧

使 用 ガ ス	ガス消費量	
	最大	最小(参考値)
都 市 ガ ス (1 3 A)	43.6kW(37,500kcal/h)	5.8kW(5,000kcal/h)

※ガス消費量は補助熱源機の消費量です。

サービスを依頼される前は

サービスを依頼される前に 55～60 ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……………GCT-C03ARS-AWQ(排熱利用給湯暖房ユニット)
2. 型 式 名……………ECG-151
3. ガ ス 種……………都市ガス(13A)
4. お買い上げ年月日
5. 故障の状況……………できるだけ詳しく
6. ご住所、お名前、電話番号
7. 訪問ご希望日

保証について

- この排熱利用給湯暖房ユニットには保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されていることを確認してください。
- 保証書の内容をよくお読みになった後は大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- 転居される場合は販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。
- 移設はお客様自身で行わず、移設先のガス会社、販売店に依頼してください。
- 移設先のガス種によっては使用できない場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

排熱利用給湯暖房ユニットの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 10 年です

- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

東邦ガス株式会社

電話 052-871-3511

〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18



危険



連絡する

ガスくさいときはガス栓を閉め、火気に注意して、販売店またはガス会社にご連絡ください。